

冷媒 R410A 対応

三菱電機 設備用パッケージエアコン

ファシリアDD

形名

ユニット内洗浄可能タイプ

PFHV-P280DMWJ

PFHV-P560DMWJ

取扱説明書

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	3
1. 各部の名称	7
2. 付属品	9
3. 別売部品・別売品	10
4. ご使用の前に	11
5. 使用方法	13
6. お手入れ	62
7. 定期点検のお願い	84
8. 製品独自のお願い事項	87
9. 据付工事の確認と試運転	88
10. 仕様	89
11. 修理を依頼する前に	90
12. 法令関連の表示	92
13. 保証とアフターサービス	93
14. 環境関連の表示	95

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は室内ユニットに添付しています。室内ユニットの保証書でセットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入を確かめて、販売店（工事店）からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」および「保証書」をお渡しください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

	ページ	ページ
安全のために必ず守ること	3	
1. 各部の名称	7	
1-1. 室内ユニット	7	
1-2. 室外ユニット	8	
2. 付属品	9	
3. 別売部品・別売品	10	
4. ご使用の前に	11	
4-1. 取扱い上のお願い	11	
4-2. 各種運転について	12	
5. 使用方法	13	
5-1. リモコンの操作について	13	
5-1-1. 各部の名称とはたらき	13	
5-1-2. 画面の流れ	15	
5-1-3. 取扱説明書内のアイコンの説明	16	
5-2. 基本操作	17	
5-2-1. 運転・停止	17	
5-2-2. 運転モード・温度設定・風速	18	
5-3. メニュー操作	20	
5-3-1. メインメニュー一覧	20	
5-3-2. メインメニュー画面での操作のしかた	21	
5-4. 各種設定操作	23	
5-4-1. 初期設定	23	
5-4-2. 風向・ルーバー・換気設定	28	
5-4-3. 時刻設定	29	
5-4-4. タイマー設定	30	
5-4-5. 週間スケジュール設定	34	
5-4-6. 室外サイレントモード設定	36	
5-4-7. 制限設定	38	
5-4-8. 省エネ設定	41	
5-4-9. メイン画面表示設定	45	
5-4-10. コントラスト調整	46	
5-4-11. 機能選択	47	
5-4-12. 自己診断	50	
5-4-13. サービス用パスワード登録	51	
5-4-14. リモコン診断	52	
5-4-15. リモコン設定初期化	53	
5-4-16. 異常情報	54	
5-4-17. Q&A	55	
5-5. その他の操作について	56	
5-5-1. 長期間使用しないとき	56	
5-5-2. データモニタリング機能	56	
5-5-3. メンテナンスモード操作	57	
6. お手入れ	62	
6-1. 洗浄作業区分	63	
6-2. 取外し部品質量	64	
6-3. ユーザー用お手入れの方法	65	
6-3-1. エアフィルターの清掃	65	
6-3-2. パネル（表面）の清掃	69	
6-3-3. ユニット内部の洗浄	69	
6-3-4. 熱交換器（1次側）・ドレンパン・ サイドパネル（内部）の洗浄	71	
6-3-5. 別売部品の取扱い	74	
6-4. 専門業者用お手入れの方法	78	
6-4-1. ユニット内部の洗浄	78	
6-4-2. 送風機セクション・熱交換器（2次側）の洗浄	79	
7. 定期点検のお願い	84	
7-1. 機器予防保全の目安	86	
7-2. 消耗部品の点検周期目安	86	
8. 製品独自のお願事項	87	
8-1. 廃棄について	87	
8-2. 移設時の据付場所について	87	
9. 据付工事の確認と試運転	88	
10. 仕様	89	
11. 修理を依頼する前に	90	
12. 法令関連の表示	92	
12-1. 標準的な使用条件	92	
12-1-1. 使用範囲	92	
12-1-2. 使用条件・環境	92	
13. 保証とアフターサービス	93	
13-1. 保証について	93	
13-2. 保証できない範囲	93	
13-3. 補修用性能部品の保有期間	93	
13-4. 修理を依頼されるときは（出張修理）	93	
13-5. お問い合わせ	94	
14. 環境関連の表示	95	
14-1. 再資源化について	95	
14-2. フロン排出抑制法	95	

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない。

- ◆封入すると、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・火災・爆発の原因になります。
 - ◆法令違反の原因になります。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
- 指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

吹き出し風を対象に直接当てない。

- ◆体調悪化・健康障害・食品劣化の原因になります。



禁止

冷やし過ぎない。

- ◆体調悪化・健康障害・食品劣化の原因になります。



禁止

以下の特殊な環境では使用しない。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・粉じん・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ



使用禁止

- ◆性能低下・腐食により、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災の原因になります。

吹き出しの風が直接あたるところに燃焼器具を置かない。

- ◆燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしない。


- ◆保護装置を改造して運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発の原因になります。
- ◆設定を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発の原因になります。
- ◆当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発の原因になります。



変更禁止

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけない。


- ◆ 工具などが落下すると、けがの原因になります。



禁止

ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしない。


- ◆ 引火・火災・爆発の原因になります。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹き付けたりしない。


- ◆ 変形・引火・火災・爆発の原因になります。



禁止

ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しない。


- ◆ ヒューズ以外のものを使用すると、発火・火災の原因になります。
- ◆ 指定容量のヒューズを使用してください。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れない。


- ◆ 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷の原因になります。
- ◆ 保護具を身につけて作業してください。



接触禁止

電気部品に水をかけない。


- ◆ 水がかかった状態で使用すると、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

水の入った容器を製品などの上に載せない。


- ◆ 水がこぼれると、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしない。


- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。
- ◆ ぬれた手を拭いてから、作業してください。



ぬれ手禁止

ぬれた手袋は使わない。


- ◆ 感電の原因になります。



ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業する。


- ◆ 落下・転倒により、けがの原因になります。



指示を
実行

掃除・整備・点検をするときは、運転を停止して、主電源を切る。


- ◆ 運転中や主電源が入った状態で作業すると、けが・感電の原因になります。
- ◆ 回転機器により、けがの原因になります。



指示を
実行

換気をする。


- ◆ 冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆ 冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生の原因になります。



換気を
実行

燃焼器具を使用する場合は換気をする。


- ◆ 不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒の原因になります。



換気を
実行

室内温度を管理する。


- ◆ 体調悪化や健康障害、食品劣化の原因になります。



指示を
実行

アルコールで消毒した場合、換気をして周囲に充満するアルコールガスを取り除く。


- ◆ ガスを取り除かずに電源を入れると、引火・爆発の原因になります。
(本製品は防爆仕様ではありません)



指示を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切る。


- ◆ 異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災の原因になります。
- ◆ お買上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡してください。



指示を
実行

端子箱・制御箱のカバーまたはパネルを取り付ける。


- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災の原因になります。



指示を
実行

制御箱のカバーを取り外して作業をする場合は、専門業者に依頼する。

- ◆ けが・感電の原因になります。



指示を
実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検する。

- ◆ ユニットの転倒・落下（据付場所により異なる）により、けがの原因になります。



ユニットの廃棄は、専門業者に依頼する。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発の原因になります。



注意

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしない。

- ◆ ユニットの転倒や載せたものの落下により、けがの原因になります。



電気部品に触る場合は、保護具を身に付ける。

- ◆ 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



パネルやガードを外したまま運転しない。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがの原因になります。
- ◆ 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



作業する場合は保護具を身に付ける。

- ◆ けがの原因になります。



食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

- ◆ 保存品が品質低下する原因になります。



滑り止めのある手袋を使う。

- ◆ けがの原因になります。



吹き出しの風が直接あたるところに動植物を置かない。

- ◆ 悪影響の原因になります。



フィルターを取り外すときは、保護具を身につける。

- ◆ ほこりが目に入り、けがの原因になります。



運転停止後、すぐにユニットの電源を切らない。

- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれる原因になります。
- ◆ 運転停止から5分以上待ってください。



吸込パネルを取り付ける場合、スリングも取り付ける。

- ◆ 吸込パネルを開けたとき、手前に倒れると、けがの原因になります。



部品端面・ファン・熱交換器のフィン表面に触れるときは保護具を身に付ける。

- ◆ けが・感電・故障の原因になります。



フィルター・熱交換器は定期的に点検・清掃する。

- ◆ 故障の原因になります。



保護具を身に付けて操作する。

- ◆ 主電源を切っても数分間は充電された電気が残るため、触れると感電の原因になります。



ユニット内の冷媒は、処理業者に依頼して回収・廃棄する。

- ◆ 大気に放出すると、環境破壊の原因になります。



販売店または専門業者が定期的に点検する。

- ◆ ユニットの内部に、ごみ・ほこりがたまると、水漏れにより家財がぬれる原因になります。
- ◆ においが発生する原因になります。



指示を
実行

ユニット内を洗浄するときに

警告

熱交換器 2 次側を洗浄する場合は、制御箱とモーターを養生する。

- ◆ 水がかかると、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



水ぬれ
禁止

注意

清掃カバーを開閉する場合は、保護具を身につける。

- ◆ 熱交換器のフィンに触れると、けがの原因になります。



指示を
実行

清掃カバーを開閉する場合は、取っ手部を持つ。

- ◆ 部品に手を挟むと、けがの原因になります。
- ◆ マグネットに指を挟むと、けがの原因になります。



指示を
実行

移設・修理をするときに

警告

改造はしない。

- ◆ 改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。
- ◆ 移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼してください。



禁止

分解・修理をした場合、部品を元どおり取り付け。

- ◆ 不備があると、けが・感電・火災の原因になります。

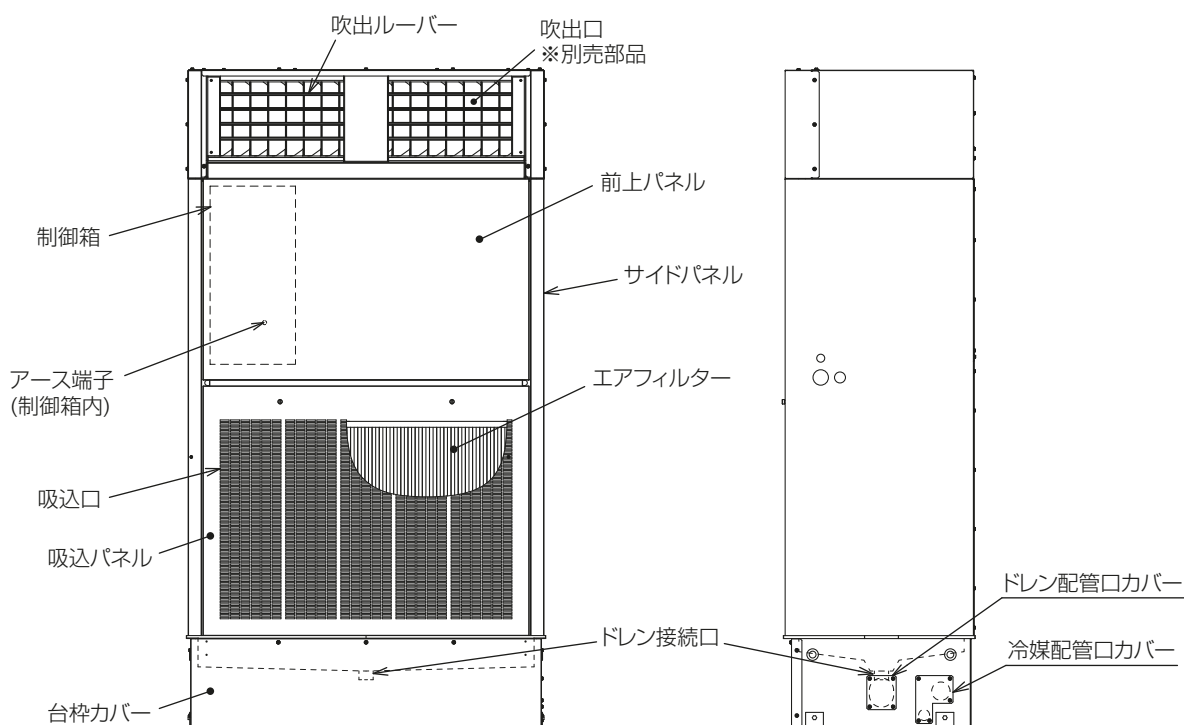


指示を
実行

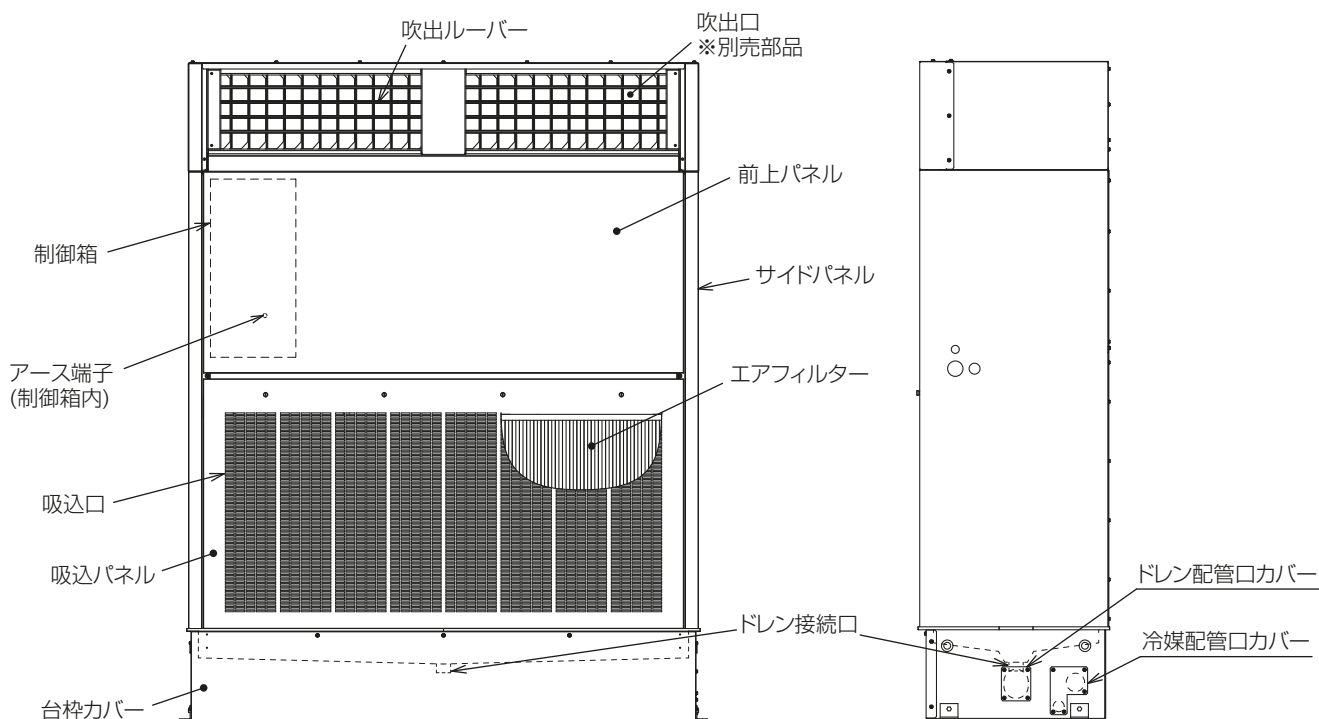
1. 各部の名称

1-1. 室内ユニット

PFAV-P280DMWJ

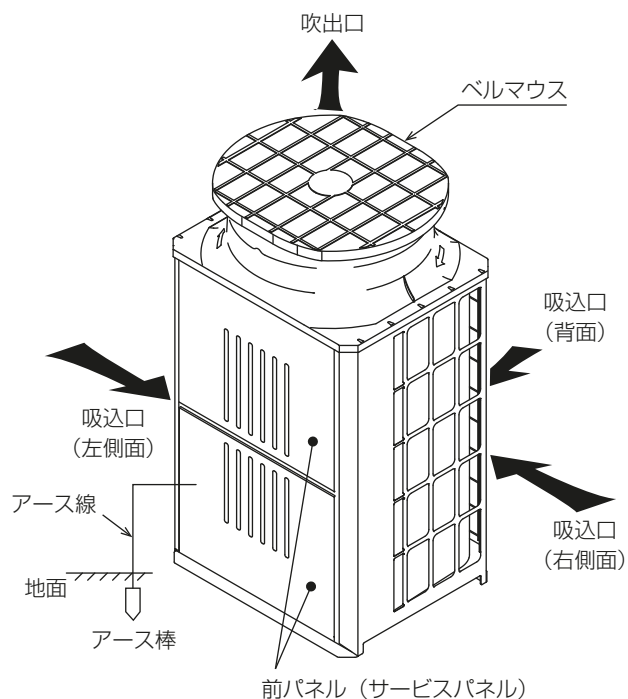


PFAV-P560DMWJ

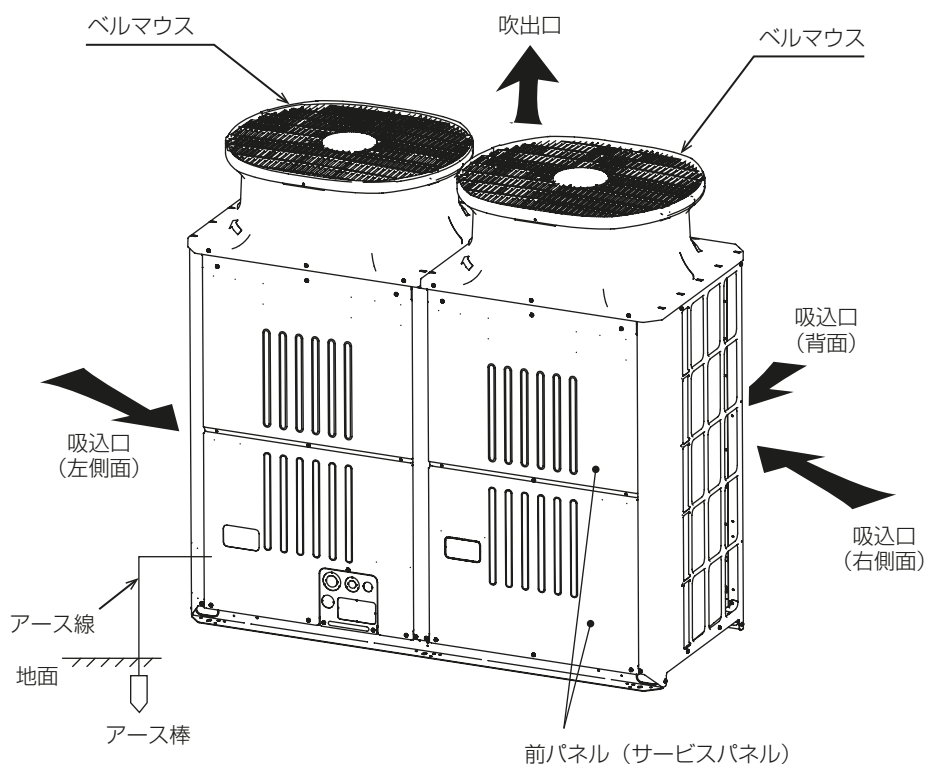


1-2. 室外ユニット

PUHV-P280DMJ2(-BS, BSG)

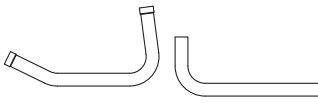
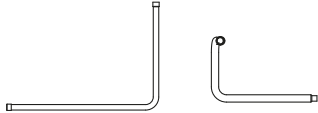
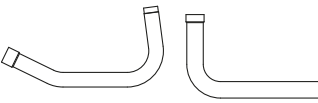
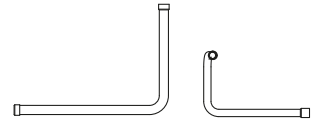
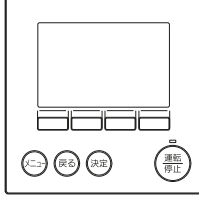



PUHV-P560DMJ2(-BS, BSG)



2. 付属品

本ユニットには下記の部品が付属しています。据付作業前に確認してください。

機種	付属品	個数	付属場所	外形
PFAV-P280DMWJ	付属配管(ガス)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
	付属配管(液)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P560DMWJ	付属配管(ガス)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
	付属配管(液)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
共 通	リモコン	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
	M制御 遠方表示キット 取付板金	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	

3. 別売部品・別売品

パッケージエアコンは、多様な使い方に対応できるよう専用の別売部品・別売品を用意しています。詳細は、カタログなどを参照してください。

- **フィルター**

中性能フィルター、高性能フィルター、ロングライフフィルターなど、豊富な別売部品を用意しています。

- **その他**

圧力計（室外ユニット別売部品）、M 制御遠方表示キット（別売品）など、豊富な部品を用意しています。

4. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、指定のページの事項をお客様ご自身でご確認ください。「据付工事の確認と試運転(88ページ)」
- 専門業者による据付工事終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。
- 据付工事説明書のチェックリストを受け取ってください。

4-1. 取扱い上のお願ひ

警告

吹き出し風を対象に直接当てない。

- ◆ 体調悪化・健康障害・食品劣化の原因になります。



禁止

室内温度を管理する。

- ◆ 体調悪化や健康障害、食品劣化の原因になります。



指示を
実行

冷やし過ぎない。

- ◆ 体調悪化・健康障害・食品劣化の原因になります。



禁止

お願い

- 吹出口・吸込口を塞がないでください。
風の流れを妨げた場合、能力低下、および故障する原因になります。

1) 室内温度(室温)は最適にしてください。

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やし過ぎは電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

2) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。

3) フィルターの清掃をしてください。

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力を低下させ、電力のムダ使いとなります。また故障の原因にもなります。
- フィルターの清掃は、指定のページを参照してください。「エアフィルターの清掃(65ページ)」
- 操作部(MA リモコン)は、フィルターサイン表示が可能です。

4) 室内の温度ムラ解消に風向調節をしてください。

- 冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くにたまるからです。下吹出しなど風向を調節してください。

5) ときどき換気をしてください。

- ・ 長時間、閉め切った室内では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- ・ 送風運転は、室内の空気を循環させるはたらきをします。
- ・ 冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社「ロスナイ換気扇」を利用しますとムダのない換気ができます。

4-2. 各種運転について

(1) 暖房運転について

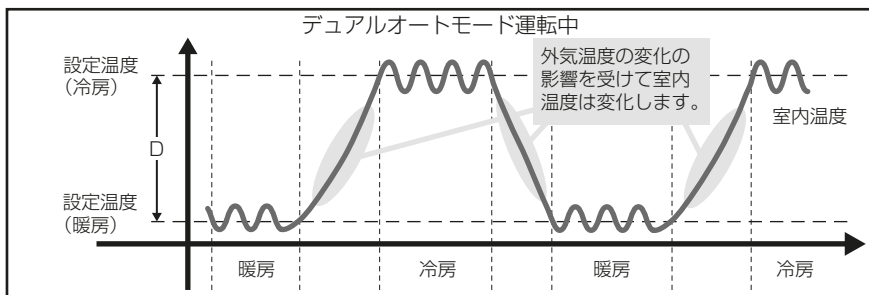
- ・ 運転を停止しても風が出る：運転停止後約 1 分間、室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわることがあります。

(2) 送風運転について

- ・ 送風運転は、室内の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

(3) デュアルオートモードについて

デュアルオートモードでは、2 値（冷房・暖房）の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切り替え、2 つの設定温度内に室内温度を維持します。デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。下図はデュアルオートモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。



- ・ 冷房設定温度と暖房設定温度の差 (D) の最小値は、機能選択により変更できます。(初期値は 2℃) 詳細は指定のページを参照してください。「機能設定一覧表 (49 ページ)」
- ・ デュアルオートモードを選択すると、冷房・暖房時の設定可能な温度範囲が狭くなります。また、最小温度差 (D) を大きくするとよりエコを意識した温度設定に制限可能ですが、設定可能な温度範囲が狭くなります。
- ・ 受注仕様によってはデュアルオートモードを使用できない場合があります。

(4) 換気連動運転について

- ・ ユニットの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行います。

(5) 霜取運転 (霜取中) について

- ・ 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。
- ・ この霜を溶かす運転を行っているときにリモコンに「霜取中」と表示します。霜取運転は約 7 分程度 (最大 12 分) で終わります。
- ・ 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。

※ 設定により霜取中も送風機が運転することがあります。設定についてはお買い上げの販売店 (工事店・サービス店) に相談してください。

5. 使用方法

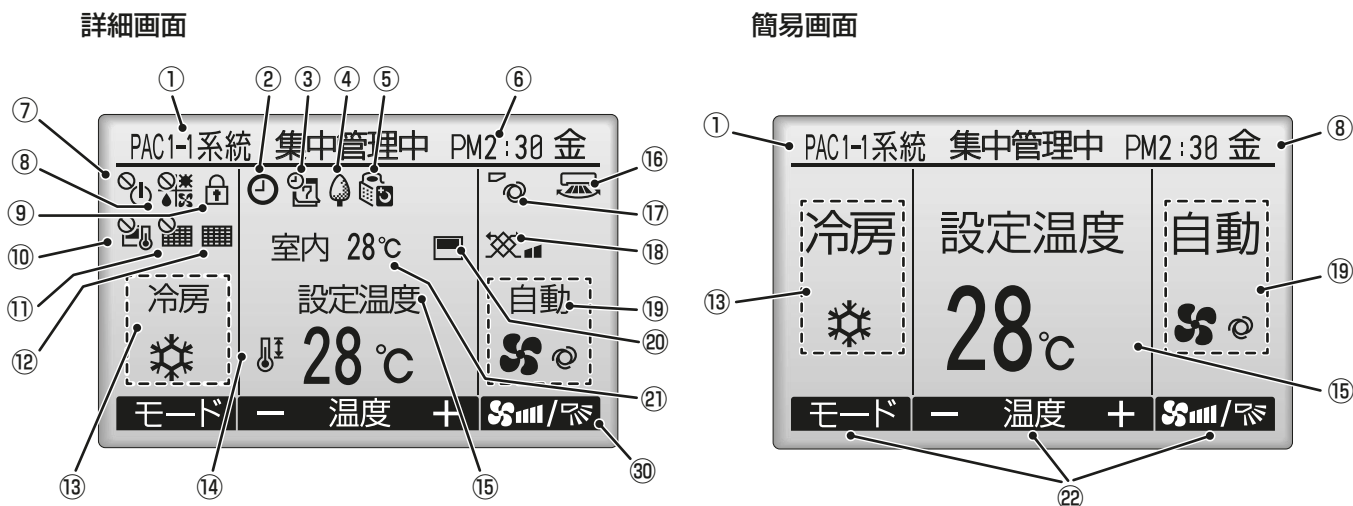
5-1. リモコンの操作について

リモコンは、室内ユニットに付属しています。

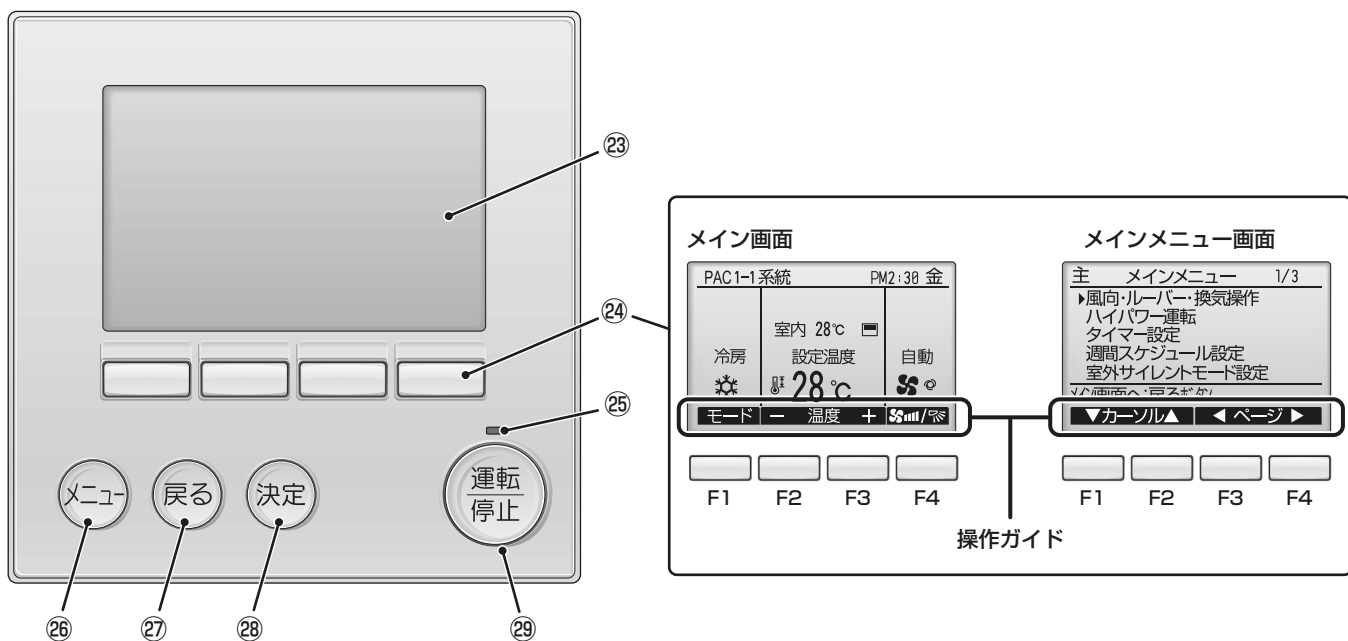
5-1-1. 各部の名称とはたらき

メイン画面の表示には「詳細画面」と「簡易画面」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。簡易画面の切り替えは、指定のページを参照してください。「メイン画面表示設定（45 ページ）」






















表示部



操作部



5. 使用方法

番号	表示 / 名称	説明
①	 リモコン名	リモコンの名前を表示します。(異常猶予中は4桁のコードを表示します)
②		オン / オフタイマーまたは消忘れ防止タイマー設定が有効の時に表示します。 タイマー設定が集中管理中の時は  を表示します。
③		週間スケジュールタイマー設定が有効のときに表示します。
④		省エネ制御中に表示します。
⑤		室外サイレントモード制御中に表示します。
⑥	 時刻	現在の時刻を表示します。
⑦		発停操作が集中管理中のときに表示します。
⑧		運転モード操作が集中管理中のときに表示します。
⑨		操作ロック設定が有効のときに表示します。
⑩		設定温度操作が集中管理中のときに表示します。
⑪		フィルターサインのリセット操作が集中管理中のときに表示します。
⑫		フィルターのお手入れ時期になると表示します。
⑬	 運転モード	運転中の状態を表示します。
⑭		設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。
⑮	 設定温度	設定温度を表示します。
⑯		設定したルーバーの状態を表示します。
⑰		設定した風向の状態を表示します。
⑱	 風速	設定した換気の状態を表示します。
⑳		室内温度を検知するセンサー位置がリモコンのときに表示します。 室内ユニットのときは  を表示します。
㉑	 室内温度	現在の室内温度を設定します。
㉒	ファンクションボタン操作ガイド	ファンクションボタンの機能名を表示します。
㉓	液晶表示部 (バックライト付)	運転内容を表示します。 バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。 一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。 バックライトの点灯時間は画面により異なります。
㉔	ファンクションボタン	ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。 液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
	F1 ボタン	メイン画面：運転モードを切り替えます。 メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。
	F2 ボタン	メイン画面：設定温度を下げます。 メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。
	F3 ボタン	メイン画面：設定温度を上げます。 メインメニュー画面：前のページを表示します。
	F4 ボタン	メイン画面：風速を切り替えます。 メインメニュー画面：次のページを表示します。
㉕	運転ランプ	運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。
㉖	メニューボタン	メインメニューを表示します。
㉗	戻るボタン	前の画面に戻ります。
㉘	決定ボタン	設定の決定をします。
㉙	運転 / 停止ボタン	1 度押すと運転し、もう 1 度押すと停止します。
㉚		風速を切り替えます。

お知らせ

- バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。(運転 / 停止ボタンは除く)
- 基本運転 (運転 / 停止、運転モード切替、風量調節、温度設定) 以外はメニュー画面からの設定となります。
- 使用する場合は、リモコンに同梱されている取扱説明書を参照してください。

5-1-2. 画面の流れ

[メニュー] ボタンを押すと、メインメニュー画面が表示されます。

操作のしかたは指定のページを参照してください。「メインメニュー画面での操作のしかた (21 ページ)」

メイン画面	〈参照ページ〉
風向・ルーバー・換気設定	28 ページ
ハイパワー運転	本機能は対応していません。
タイマー設定	
オン / オフタイマー	30 ページ
消忘れ防止タイマー	32 ページ
週間スケジュール設定	34 ページ
室外サイレントモード設定	36 ページ
制限設定	
設定温度範囲制限	38 ページ
操作ロック	40 ページ
省エネ設定	
設定温度自動復帰	41 ページ
省エネ運転スケジュール	43 ページ
フィルター情報	67 ページ
異常情報	54 ページ
初期設定	
主従設定	23 ページ
リモコン名称設定	24 ページ
時刻設定	29 ページ
メイン画面表示設定	45 ページ
コントラスト調整	46 ページ
リモコン表示設定	24 ページ
自動モード設定	27 ページ
管理者用パスワード登録	27 ページ
サービス	
試運転メニュー	室内ユニットの据付工事説明書
サービス情報登録メニュー	室内ユニットの据付工事説明書
機能選択	47 ページ
点検	室内ユニットの据付工事説明書
自己診断	50 ページ
サービス用パスワード登録	51 ページ
リモコン診断	52 ページ
リモコン設定初期化	53 ページ
Q&A	55 ページ

お知らせ

- ・ 設定できない項目があります。

5-1-3. 取扱説明書内のアイコンの説明

お知らせ

- 取扱説明書内のマークは、以下の内容を表しています。

	<p>設定を変更する場合、管理者用（またはサービス用）パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">タイマー情報</p> <hr/> <p style="text-align: center;">管理者用パスワード入力 0000</p> <hr/> <p>入力確定:決定ボタン</p> <p style="text-align: center;">◀カーソル▶ - +</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> </div> <p style="text-align: center;">F1 F2 F3 F4</p> <p>※パスワードがわからない場合、異なった場合は設定変更できません。</p> <p>[F1] ボタン：カーソルが左に移動します。 [F2] ボタン：カーソルが右に移動します。 [F3] ボタン：数字を1減らします。 [F4] ボタン：数字を1増やします。</p>
	<p>主リモコンのみ操作することができます。</p>
	<p>運転中のみ操作することができます。</p>
	<p>停止中のみ操作することができます。</p>
	<p>冷房・暖房・自動運転中のみ操作することができます。</p>
	<p>操作ロック中、集中管理中に操作することができません。</p>

5-2. 基本操作

5-2-1. 運転・停止



[1] 運転を始める

手順

- [運転/停止] ボタンを押す。
運転ランプが緑色に点灯し、運転を開始します。



[2] 運転を止める

手順

- [運転/停止] ボタンを押す。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。



[3] 再運転内容

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度
風速	前回設定風速

[4] 設定温度範囲

運転モード		設定温度範囲
冷房		14℃～30℃
暖房		14℃～30℃
自動		14℃～30℃
デュアルオートモード	冷房	冷房モードの設定温度範囲 ※
	暖房	暖房モードの設定温度範囲 ※
送風・換気		設定できません。

※ 詳細は指定のページを参照してください。「設定温度範囲制限を設定する (38 ページ)」

5-2-2. 運転モード・温度設定・風速



[1] 運転モードを設定する

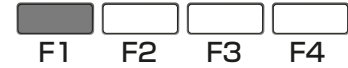
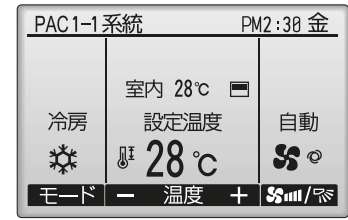
手順

- [F1] ボタンを押す。
ボタンを押すごとに「冷房」「送風」「自動」「暖房」の順に運転モードが切り替わります。



お知らせ

- 室内ユニットの機種により設定できない運転モードは表示されません。
- 室内ユニットの機種によっては、デュアルオートモードになります。ただし、運転モードの表示は「自動」です。
- 自動モードをリモコンに表示させるには、リモコンで自動モードを使用するに設定すること以外に室外ユニットのスイッチ設定を変更する必要があります。スイッチ設定の詳細については「設計工事マニュアル」「サービスハンドブック」を参照してください。



[2] 温度を設定する

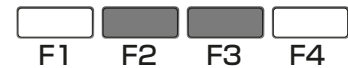
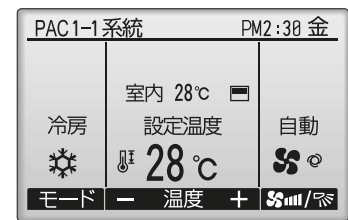
冷房、暖房、自動の場合

手順

- [F2] [F3] ボタンを押し、設定温度を変更する。
 - [F2] ボタンを押すごとに設定温度が下がります。
 - [F3] ボタンを押すごとに設定温度が上がります。

お知らせ

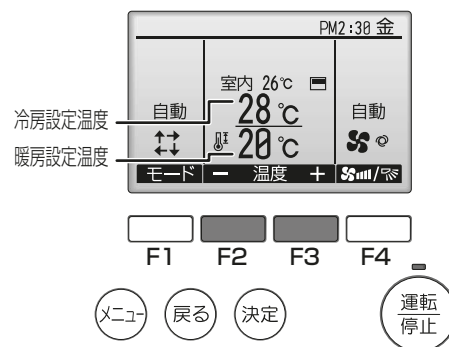
- 設定可能範囲は指定のページを参照してください。「設定温度範囲 (17 ページ)」
- 送風・換気運転の場合は設定できません。
- 設定温度は室内ユニットの機種とリモコン表示設定により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。



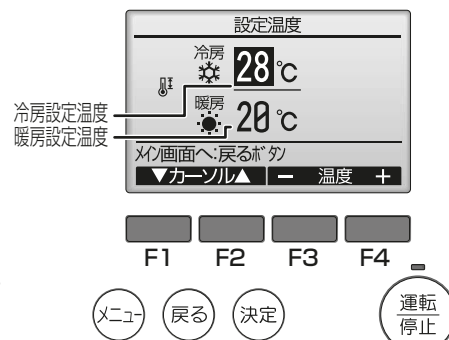
デュアルオートモードの場合

手順

1. [F2] または [F3] ボタンを押す。設定温度画面が表示されます。



2. [F1][F2] ボタンを押し、冷房設定温度または暖房設定温度にカーソルを合わせる。
3. [F3][F4] ボタンを押し、設定温度（冷房設定温度または暖房設定温度）を入力する。
- [F3] ボタンを押すごとに設定温度が下がります。
 - [F4] ボタンを押すごとに設定温度が上がります。

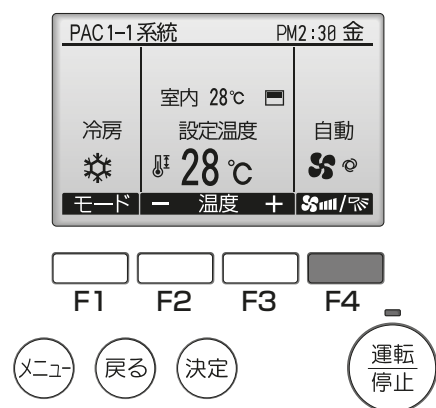


お知らせ

- 各モードで設定できる温度範囲は指定のページを参照してください。「設定温度範囲（17 ページ）」
- デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は冷房、暖房モードの設定温度とそれぞれ共通です。
- デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は、以下の条件で設定できます。
冷房設定温度が暖房設定温度よりも高く、温度差 D が最小温度差以上。詳細は指定のページを参照してください。「デュアルオートモードについて（12 ページ）」
- 設定温度を最小温度差未満となるように操作した場合は、最小温度差を保ったままもう一方の値も変更されます。
- 前の画面に戻りたい場合は、[戻る] ボタンを押してください。

[3] 風速を設定する

本機能は対応していません。



5-3. メニュー操作

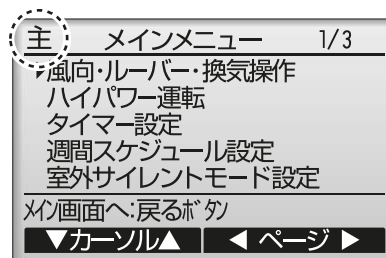
5-3-1. メインメニュー一覧

設定および表示項目		詳細内容	参照ページ
風向・ルーバー・換気設定		風向・ルーバー機能は対応していません。	28 ページ
ハイパワー運転		本機能は対応していません。	
タイマー設定	オン/オフタイマー	運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 時刻設定が必要です。	30 ページ
	消忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 10 分単位で 30 ~ 240 分まで選択可能です。	32 ページ
週間スケジュール設定		1 週間の運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 時刻設定が必要です。 オン/オフタイマー有効中は動作しません	34 ページ
室外サイレントモード設定		静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 1 週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ・静音レベルは「標準」「中」「静」から設定します。 時刻設定が必要です。	36 ページ
制限設定	設定温度範囲制限	設定温度の範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	38 ページ
	操作ロック	指定した操作をロックします。 ・操作ロック中は指定した操作が無効となります。	40 ページ
省エネ設定	設定温度自動復帰	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ・設定時間は 10 分単位で 30 ~ 120 分まで選択可能です。 設定温度範囲制限が有効の時は機能しません。	41 ページ
	省エネ運転スケジュール	1 週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力セーブ値は 10%単位で 90 ~ 50%、0%から選択可能です。 時刻設定が必要です。	43 ページ
フィルター情報		フィルターサイン発生状況を表示します。 ・フィルターサインの解除を行います。	67 ページ
異常情報		ユニットに異常が発生した時、異常内容を表示します。 ・異常コード、異常発生元、M-NET アドレス、形名、製造番号、連絡先情報（販売店名、サービス店名、電話番号）を表示します。 形名以降はあらかじめ入力が必要です。 ・携帯電話点検コード検索サービスサイトのアクセス先を表示します。	54 ページ
初期設定	時刻設定	現在の時刻を設定します。	29 ページ
	メイン画面表示設定	メイン画面の詳細表示と簡易表示の切替えを行います。 ・デフォルト：詳細表示	45 ページ
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	46 ページ
	機能選択	リモコンから必要に応じ各室内ユニットの機能を設定します。	47 ページ
サービス	リモコン設定初期化	リモコンを出荷状態に戻します。	53 ページ
Q&A		代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。	55 ページ

[1] 従リモコンの制約事項

従リモコンでは以下の設定ができません。主リモコンで設定してください。
主リモコンの場合、メインメニューのタイトル欄に「主」表示があります。

- ・タイマー設定（オン/オフタイマー、消忘れ防止タイマー）
- ・週間スケジュール設定
- ・室外サイレントモード設定
- ・省エネ設定（設定温度自動復帰、省エネ運転スケジュール）



5-3-2. メインメニュー画面での操作のしかた



[1] 画面表示

手順

1. [メニュー] ボタンを押す。
メインメニュー画面が表示されます。



[2] 項目選択

手順

1. [F1][F2] ボタンを押す。
 - [F1] ボタンを押すごとにカーソルが下がります。
 - [F2] ボタンを押すごとにカーソルが上がります。



[3] ページ移動

手順

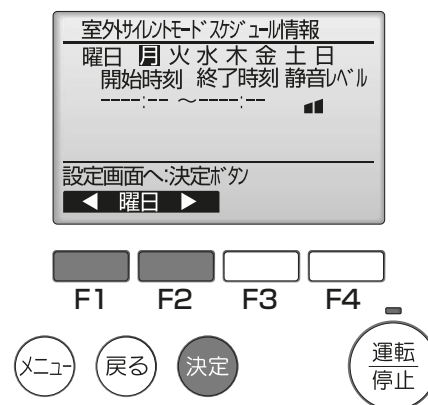
1. [F3][F4] ボタンを押す。
 - [F3] ボタンで前のページへ移動します。
 - [F4] ボタンで次のページへ移動します。



[4] 決定

手順

1. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを合わせる。
2. [決定] ボタンを押し。
選択した設定画面が表示されます。



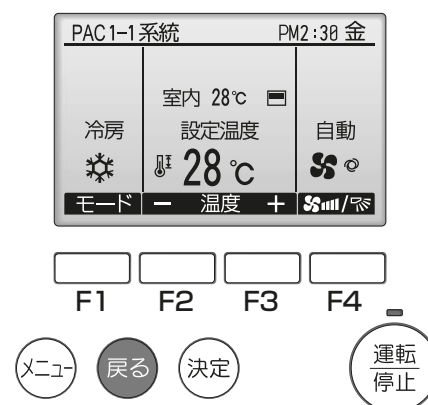
[5] 戻る

手順

1. [戻る] ボタンを押し。
メインメニュー画面からメイン画面に戻ります。

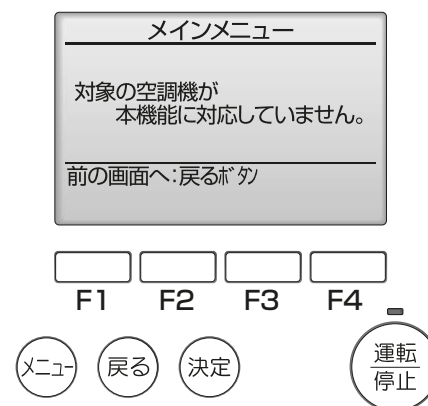
お知らせ

- 各項目の設定途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動でメイン画面に戻ります。このとき、設定途中の内容は無効になります。



[6] 機能未対応

対象の室内ユニットが機能に対応していない場合、右記メッセージ画面を表示します。



5-4. 各種設定操作

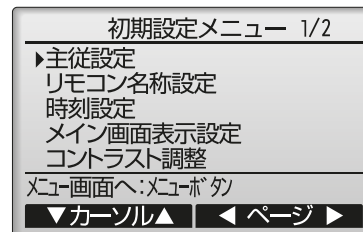
5-4-1. 初期設定



リモコン本体に各種設定を行います。

手順

1. メイン画面を表示しているときに【メニュー】ボタンを押す。
メインメニュー画面が表示されます。
2. 【F1】【F2】ボタンを押し、カーソルを初期設定メニューに合わせる。
3. 【決定】ボタンを押す。
初期設定メニュー画面が表示されます。



各画面で下記設定ができます。

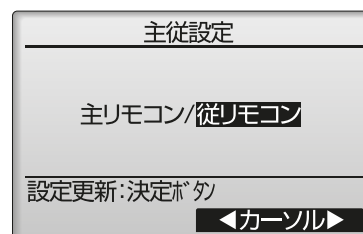
初期設定メニュー (1/2)	主従設定
	リモコン名称設定
	時刻設定
	メイン画面表示設定
	コントラスト調整
初期設定メニュー (2/2)	リモコン表示設定
	・時刻表示
	・温度単位表示
	・室内温度表示
	・自動冷暖表示
	・特殊表示
自動モード設定	
管理者用パスワード登録	

[1] 主従設定をする

ペアリモコンで使用する場合、設定が必要です。ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

手順

1. 初期設定メニュー画面で【F1】【F2】ボタンを押し、カーソルを「主従設定」に合わせる。
2. 【決定】ボタンを押す。
主従設定画面が表示されます。
3. 【F3】【F4】ボタンを押し、カーソルを「従リモコン」に合わせる。



4. 【決定】ボタンを押す。
設定が更新されます。
5. 【メニュー】ボタンを押す。
メインメニュー画面に戻ります。
(他の設定の場合も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです。)

[2] リモコン名称を設定する

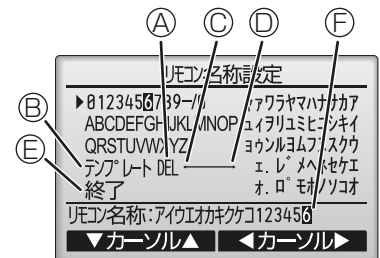
メイン画面に表示させるリモコン名称の設定をします。
 リモコン名称は半角 16 文字まで入力できます。
 (テンプレートで入力した文字は、1 文字あたり半角 2 文字分です。)



文字を入力する

手順

- [F1] ~ [F4] ボタンで入力したい文字にカーソルを合わせる。
- [決定] ボタンを押す。
1 文字ずつ文字が入力されます。

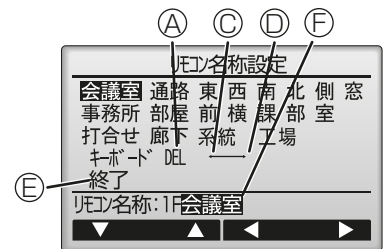


テンプレートを使用して入力する

あらかじめ登録されているテンプレートを利用し、リモコン名称を入力できます。
 テンプレートの登録内容は変更できません。

手順

- [F1] ~ [F4] ボタンで、「テンプレート」(E) にカーソルを合わせる。
- [決定] ボタンを押す。
選択した名称が入力されます。



文字を削除する

手順

- [F1] ~ [F4] ボタンで、「←」(C)「→」(D) を選択し、リモコン名称の削除したい文字にカーソルを合わせる。
- [DEL] (A) にカーソルを合わせる。
- [決定] ボタンを押す。
1 文字ずつ文字が削除されます。

入力内容を決定する

手順

- 入力完了後、「終了」(E) にカーソルを合わせる。
- [決定] ボタンを押す。
リモコン名称が設定されます。

[3] 表示設定をする

必要に応じ、リモコンの表示に関する各項目を設定してください。

(1) 時刻表示

手順

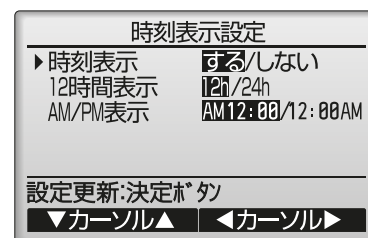
- [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「時刻表示」に合わせる。
- [F4] (変更) ボタンを押す。
時刻表示設定画面が表示されます。
- [F1] ~ [F4] ボタンを押し、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択する。



リモコン表示設定画面

表示項目	表示形式	
時刻表示	する (メイン画面に時刻を表示します)	しない (メイン画面に時刻を表示しません)
12時間表示	24h (24時間表示)	12h (12時間表示)
AM/PM表示※1	AM12:00 (時刻の前に AM/PM 表示)	12:00AM (時刻の後に AM/PM 表示)

※1 12時間表示の時のみ有効



4. [決定] ボタンを押す。
設定が更新されます。

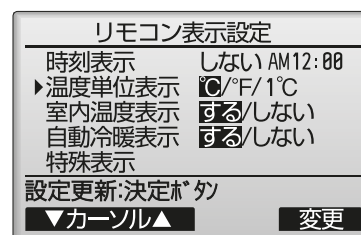
お知らせ

- 工場出荷時設定は「表示する / AM12:00 表示」です。
- 12時間表示形式、12時間 / 24時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。
12時間表示、24時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。
12時間表示：AM12:00 ~ AM1:00 ~ PM12:00 ~ PM1:00 ~ PM11:59
24時間表示：0:00 ~ 1:00 ~ 12:00 ~ 13:00 ~ 23:59

(2) 温度単位表示

手順

- [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「温度単位表示」に合わせる。
- [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを表示項目に合わせる。
℃ …… 温度表示単位を摂氏表示にします。
室内ユニットの表示単位を 0.5℃単位で表示します。
°F …… 温度表示単位を華氏表示にします。
1℃ …… 温度表示単位を摂氏表示 (1℃単位) にします。
従リモコンの場合には本項目は表示されません。
- [決定] ボタンを押す。
設定が更新されます。



お知らせ

- 工場出荷時設定は「1℃」です。

(3) 室内温度表示

手順

- [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「室内温度表示」に合わせる。
- [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを表示項目に合わせる。
する …… メイン画面 (詳細画面) に室内温度を表示します。
しない …… メイン画面 (詳細画面) に室内温度を表示しません。
- [決定] ボタンを押す。
設定が更新されます。

お知らせ

- 工場出荷時設定は「する」です。
- 「する」に設定した場合でも、簡易画面には室内温度は表示されません。

(4) 自動冷暖表示

手順

1. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「自動冷暖表示」に合わせる。
2. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを表示項目に合わせる。
 する …… 自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」を表示します。
 しない …… 自動モード運転時、「自動」のみ表示します。
3. [決定] ボタンを押し。
 設定が更新されます。

お知らせ

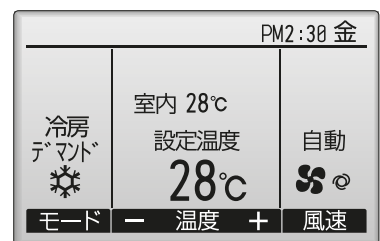
- 工場出荷時設定は「する」です。

(5) 特殊表示

特殊表示（除湿、デマンド表示）時の室内温度、設定温度の表示有無を設定します。

ユニットが以下の制御中に、特殊表示として該当する制御名称をリモコンに表示することができます。

- 除湿 …… 「除湿中」
- デマンド …… 「デマンド」

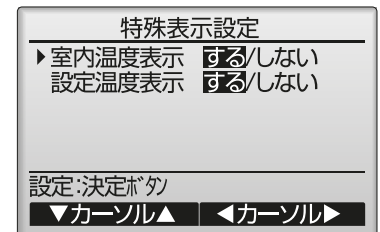


手順

1. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「特殊表示」に合わせる。
2. [F4] (変更) ボタンを押し。
 特殊表示設定画面が表示されます。
3. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「室内温度表示 / 設定温度表示」に合わせる。
4. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「する / しない」に合わせる。



	室内温度表示	設定温度表示
する	特殊表示時、室内温度を表示します。	特殊表示時、設定温度を表示します。
しない	特殊表示時、室内温度を表示しません。	特殊表示時、設定温度を表示しません。



5. [決定] ボタンを押し。
 設定が更新されます。

お知らせ

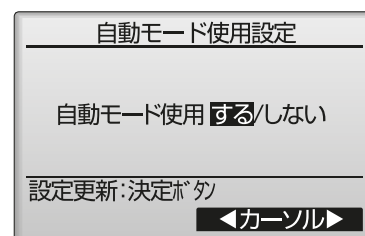
- ユニットが除湿 / デマンドの制御をしていない場合、本設定は無効です。
- 室内温度は吸込温度を表示します。
- 「する」に設定した場合でも、簡易画面には室内温度は表示されません。
- 前述の「室内温度表示」で室内温度表示を「しない」に設定している場合は、本設定内容によらず室内温度は表示されません。

[4] 自動モード設定

本機能を使用する場合、室外ユニット側の設定詳細については、設計工事マニュアルを参照してください。

手順

1. 初期設定メニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。「初期設定 (23 ページ)」
2. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「自動モード設定」に合わせる。
3. [決定] ボタンを押し。
自動モード使用設定画面が表示されます。
4. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「する / しない」に合わせる。
する …… 運転モード選択時に自動モードを表示します。
しない …… 運転モード選択時に自動モードを表示しません。
5. [決定] ボタンを押し。
設定が更新されます。

**お知らせ**

- 工場出荷時設定は「する」です。

[5] 管理者用パスワード登録

管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。

管理者用パスワードは下記項目を設定するときが必要です。

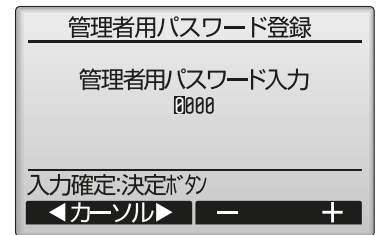
タイマー設定・週間スケジュール設定・室外サイレントモード設定・制限設定・省エネ設定・メニュー操作ロック設定

各設定の詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。

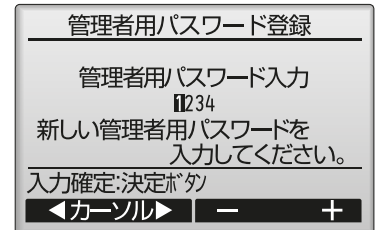
手順

1. 初期設定メニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。「初期設定 (23 ページ)」
2. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「管理者用パスワード登録」に合わせる。
3. [決定] ボタンを押し。
管理者用パスワード登録画面が表示されます。
4. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを各桁に合わせる。

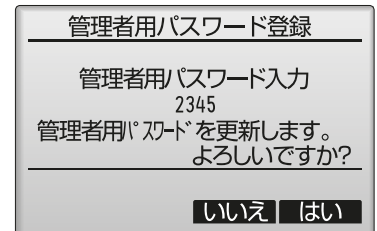
5. [F3][F4] ボタンを押し、現在設定されている管理者用のパスワードを 0～9 の数字（数字 4 桁）で入力する。



6. [決定] ボタンを押す。
パスワードが一致すると、新規パスワード入力画面が表示されます。



7. 手順 3～5 と同じ要領で、新しい管理者用パスワードを入力し、[決定] ボタンを押す。
パスワード更新確認画面が表示されます。
8. [F4] ボタン（はい）を押す。
管理者用パスワードが更新されます。
入力を取り消す場合は、[F3] ボタン（いいえ）を押してください。



お願い

- パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ

- 管理者用パスワードの初期値は「0000」です。
- 管理者用パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて [F1][F2] ボタンを同時に 3 秒間押し続けると、パスワードを「0000」に初期化できます。

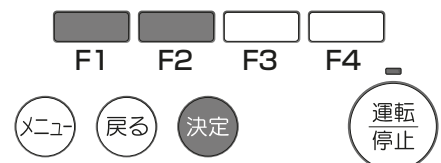
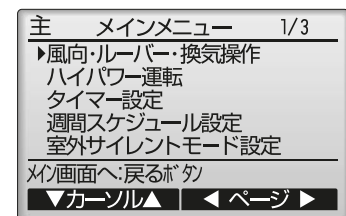
5-4-2. 風向・ルーバー・換気設定



本システムは、風向・ルーバー設定には対応していません。

手順

- メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。「各部の名称とはたらき（13 ページ）」
- [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「風向・ルーバー・換気操作」に合わせる。

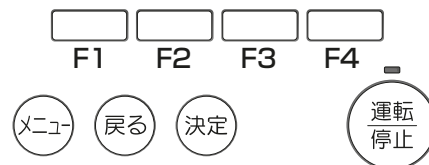


3. [決定] ボタンを押す。

右記画面（風向・ルーバー・換気設定画面）が表示されます。

お知らせ

- メイン画面で [F4] ボタンを1秒以上押すと、同じ操作ができます。

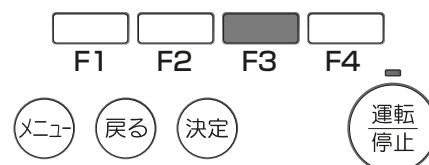
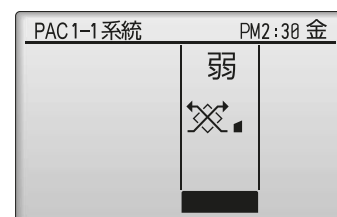


4. [F3] ボタンを押し、換気設定をする。

ボタンを押すごとに「停止」「弱」「強」の順に切り替わります。

お知らせ

- 換気設定をしている場合のみ、変更できます。
- 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作することがあります。

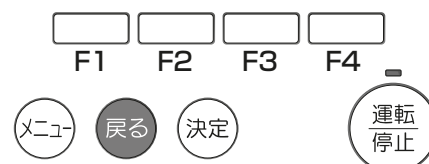
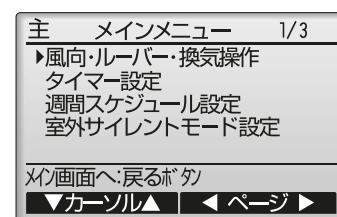


5. [戻る] ボタンを押す。

メインメニュー画面が表示されます。

お知らせ

- メイン画面から画面を切替えた場合は、メイン画面に戻ります。



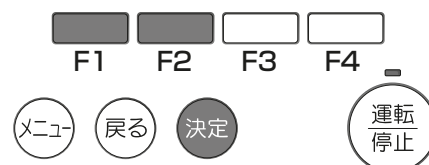
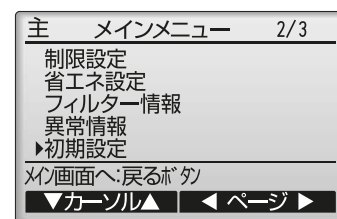
5-4-3. 時刻設定

下記機能を設定するには、時刻設定が必要です。

オン/オフタイマー設定、週間スケジュール設定、室外サイレントモード設定、省エネ運転スケジュール

手順

- メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき (13 ページ)」
- [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「初期設定」に合わせる。



3. [決定] ボタンを押す。
初期設定メニュー画面が表示されます。

4. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「初期設定」に合わせる。



5. [決定] ボタンを押す。
時刻設定画面が表示されます。
6. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「年（西暦下二桁）」「月」
「日」「時」「分」のうち、変更したい項目に合わせる。
7. [F3][F4] ボタンを押し、現在の日時を入力する。



8. [決定] ボタンを押す。
設定確定画面が表示されます。

5-4-4. タイマー設定



[1] オン/オフタイマーを設定する

毎日同じ時間に運転/停止する場合（繰返し）や当日だけ運転/停止する場合（1回のみ）に設定します。
運転/停止それぞれ1回ずつ設定できます。

手順

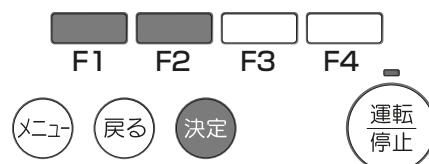
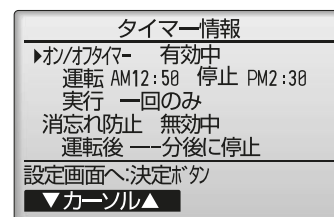
1. メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき（13ページ）」
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「タイマー設定」に合わせる。



3. [決定] ボタンを押す。

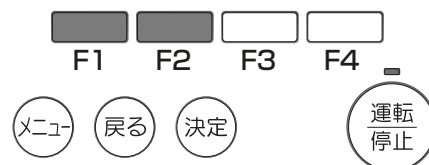
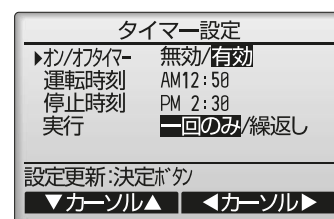
タイマー情報画面に、現在の設定状況が表示されます。

4. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「オン/オフタイマー」に合わせる。



5. [決定] ボタンを押す。

タイマー設定画面が表示されます。

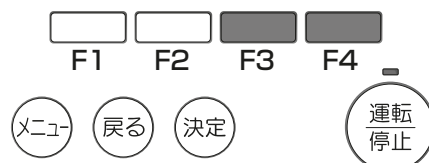
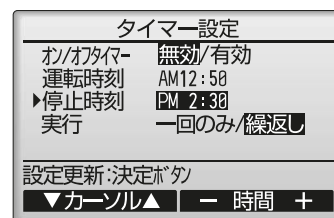


6. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「オン/オフタイマー」「運転時刻」「停止時刻」「実行」のうち、変更したい項目に合わせる。

7. [F3][F4] ボタンを押し、各項目を設定する。

表示項目	表示内容	
オン/オフタイマー	無効	有効
運転時刻	5分単位で設定※ ¹	
停止時刻	5分単位で設定※ ¹	
実行	一回のみ	繰り返し

※¹ ボタンを押し続けると、連続で数字が変わります。

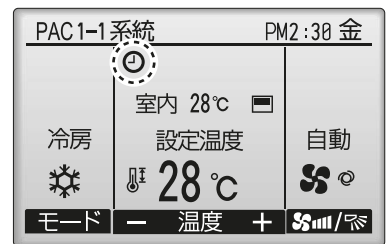


8. [決定] ボタンを押す。
設定確定画面が表示されます。



お知らせ

- 以下の場合、オン / オフタイマー設定は実行されません。
オン / オフタイマー無効中、異常発生中、点検中（サービスメニュー内）、試運転中、リモコン診断中、時刻未設定、機能選択中、集中管理中（運転 / 停止またはタイマー機能が禁止の場合）
- オン / オフタイマー設定が有効の場合、詳細メイン画面に「🕒」が表示されます。
このアイコンはタイマー機能が無効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）は、表示されません。



[2] 消忘れ防止タイマーを設定する

設定した時間に運転を停止します。

手順

1. タイマー設定画面を表示する。指定のページを参照してください。「タイマー設定（30 ページ）」
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「消忘れ防止」に合わせる。



3. [決定] ボタンを押す。

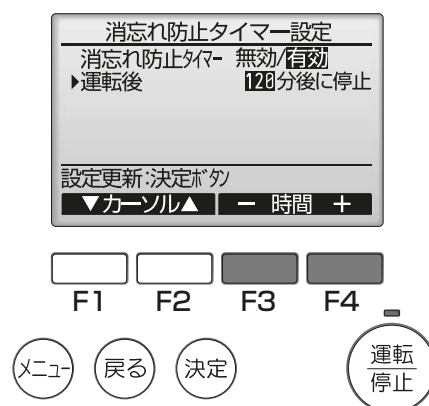
消忘れ防止タイマー設定画面に、現在の設定状況が表示されます。

4. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「消忘れ防止タイマー」「運転後」のうち、変更したい項目に合わせる。



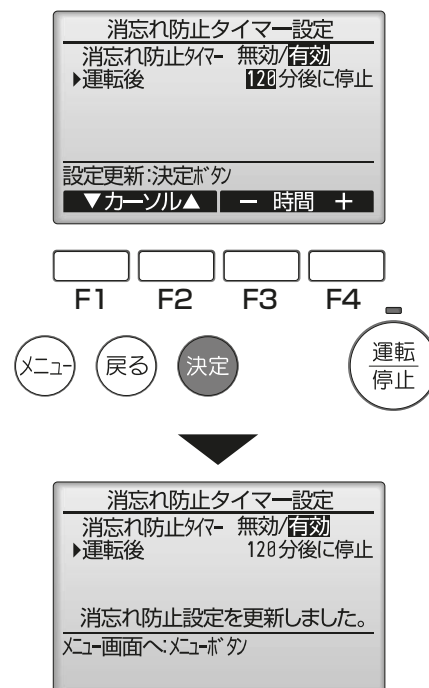
5. [F3][F4] ボタンを押し、各項目を設定する。

表示項目	表示内容	
消忘れ防止タイマー	無効	有効
運転後	設定範囲 30 ~ 240 分のうち、10 分単位で設定	



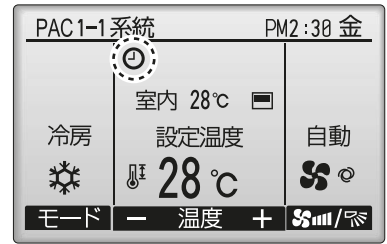
6. [決定] ボタンを押す。

設定確定画面が表示されます。



お知らせ

- 消忘れ防止タイマー設定が有効の場合、詳細メイン画面に「🕒」が表示されます。
このアイコンはタイマー機能が無効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）は、表示されません。



5-4-5. 週間スケジュール設定



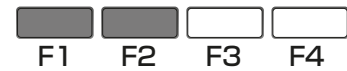
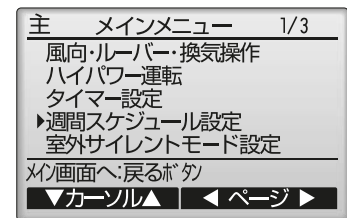
曜日により運転スケジュールを変えたい場合、曜日ごとに運転 / 停止設定温度をスケジュール設定します。設定が重複した場合、オン / オフタイマーが優先されます。

お知らせ

- 以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。
オン / オフタイマー有効中、週間スケジュール無効中、異常発生中、点検中（サービスメニュー内）、試運転中、リモコン診断中、時刻未設定、機能選択中、集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）

手順

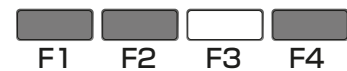
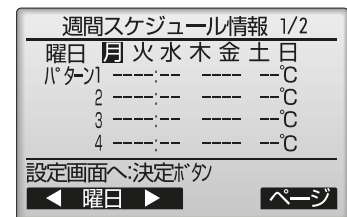
- メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。「各部の名称とはたらき（13ページ）」
- [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「週間スケジュール設定」に合わせる。



- [決定] ボタンを押す。
週間スケジュール情報画面に、現在の設定状況が表示されます。

お知らせ

- [F1][F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。
- [F4] ボタンで5～8パターンを表示します。



4. **[決定]** ボタンを押す。
スケジュール設定無効 / 有効切換え画面が表示されます。
5. スケジュールを有効にする場合は、**[F3][F4]** ボタンを押し、「有効」にカーソルを合わせる。



6. **[決定]** ボタンを押す。
週間スケジュール設定画面に、現在の設定状況が表示されます。
7. **[F1][F2]** ボタンを押し、設定したい曜日にカーソルを合わせる。
8. **[F3]** ボタンを押し、曜日を確定する。

お知らせ

- 曜日は複数選択できます。



9. **[決定]** ボタンを押す。
パターン設定画面が表示されます。

お知らせ

- 1日8パターンまで設定できます。

10. **[F1]** ボタンを押し、設定したいパターンにカーソルを合わせる。
11. **[F2]** ボタンを押し、「時刻」「運転 / 停止」「自動」「温度」のうち、変更したい項目にカーソルを合わせる。
12. **[F3][F4]** ボタンを押し、各項目を設定する。

時刻 …… 5分単位で設定 ※¹

運転 / 停止 …… 「運転」「停止」「自動」

接続ユニットにより選択可能内容が異なります。
(自動のパターンが実行されるとデュアルオートモードで運転します)

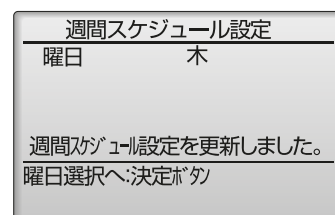
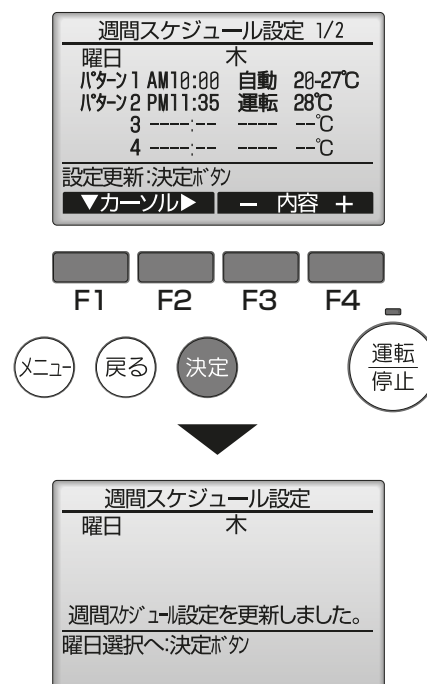
温度 …… 接続される室内ユニットの設定可能温度範囲内で、1℃単位で設定 ※²

※¹ ボタンを押し続けると、連続で数字が変わります。

※² デュアルオートモードが選択されている場合、設定温度を2つ設定することができます。

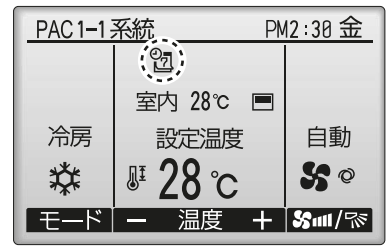
設定値例：20℃（暖房設定温度）、27℃（冷房設定温度）
デュアルオートモードで運転中に、デュアルオートモード以外の設定温度パターンが実行された場合、その設定温度は冷房設定温度に反映されます。

13. **[決定]** ボタンを押す。
設定確定画面が表示されます。



お知らせ

- 当日実行する週間スケジュール設定がある場合、詳細メイン画面に「🗓️」が表示されます。
このアイコンはオン/オフタイマー有効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）は、表示されません。
- 集中管理中（運転/停止、設定温度、運転モードが禁止の場合）でも、週間スケジュール運転は実行されますが、禁止されている設定内容は実行されません。



5-4-6. 室外サイレントモード設定



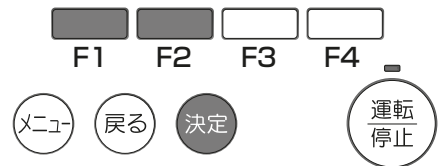
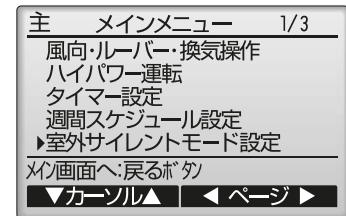
室外サイレントモードを設定すると、静音性を優先して運転します。
1 週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻を設定します。

お知らせ

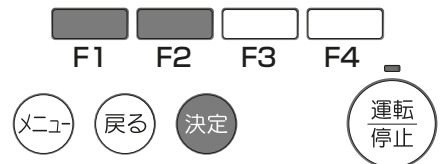
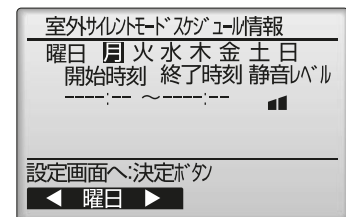
- 室外ユニットで室外サイレントモードを設定している場合、室外ユニット側の設定が優先されます。

手順

1. メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき (13 ページ)」
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「室外サイレントモード設定」に合わせる。



3. [決定] ボタンを押す。
室外サイレントモードスケジュール情報画面に、現在の設定状況が表示されます。

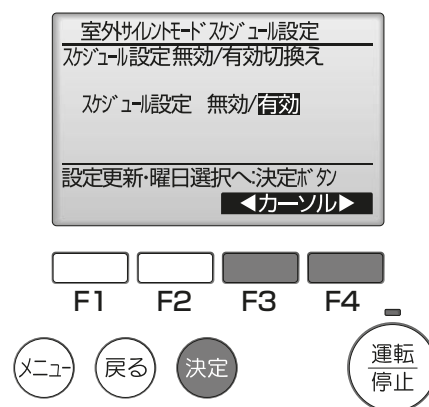


お知らせ

- [F1][F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。

4. [決定] ボタンを押す。
スケジュール設定無効 / 有効切換え画面が表示されます。

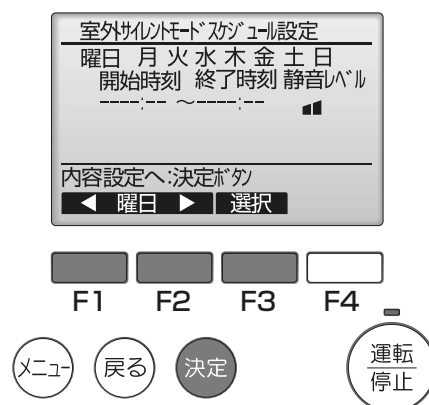
5. スケジュールを有効にする場合は、[F3][F4] ボタンを押し、「有効」にカーソルを合わせる。



6. [決定] ボタンを押す。
 室外サイレントモードスケジュール設定画面が表示されます。
 7. [F1][F2] ボタンを押し、設定したい曜日にカーソルを合わせる。
 8. [F3] ボタンを押し、曜日を確定する。

お知らせ

- 曜日は複数選択できます。

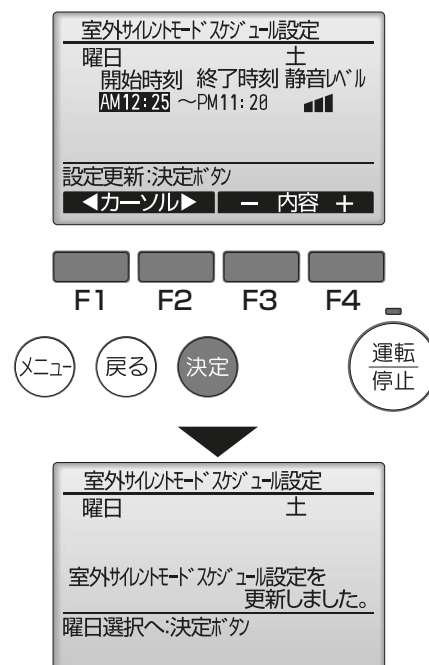


9. [決定] ボタンを押す。
 内容設定画面が表示されます。
 10. [F1][F2] ボタンを押し、「開始時刻」「終了時刻」「静音レベル」のうち、変更したい項目にカーソルを合わせる。
 11. [F3][F4] ボタンを押し、各項目を設定する。
 開始時刻 ……5分単位で設定 ※1
 終了時刻 ……5分単位で設定 ※1
 静音レベル ……「標準」「中」「静」




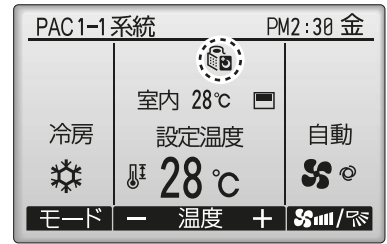
※1 ボタンを押し続けると、連続で数字が変わります。

12. [決定] ボタンを押す。
 設定確定画面が表示されます。



お知らせ

- ・ 室外サイレントモード制御中は、詳細メイン画面に「」が表示されます。



5-4-7. 制限設定



[1] 設定温度範囲制限を設定する

運転モードごとの設定温度範囲を設定します。

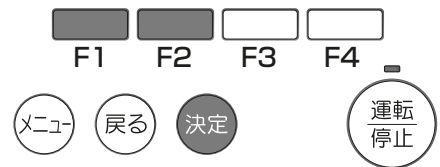
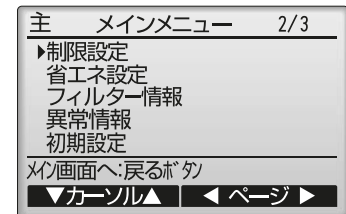
設定温度範囲制限の設定範囲は下表のとおりです。

運転モード	下限値	上限値
冷房 ※1 ※3	14 ~ 30 °C	30 ~ 14 °C
暖房 ※2 ※3	14 ~ 30 °C	30 ~ 14 °C
自動 ※4	14 ~ 30 °C	30 ~ 14 °C

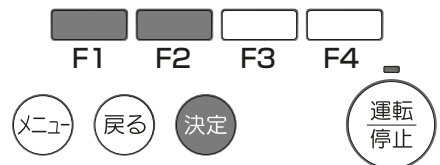
- ※1 冷房・デュアルオートモード(冷房)の設定温度を制限します。
- ※2 暖房・デュアルオートモード(暖房)の設定温度を制限します。
- ※3 冷房・デュアルオートモード(冷房)と暖房・デュアルオートモード(暖房)の設定は以下の条件で設定します。
 詳細は指定のページを参照してください。「デュアルオートモードについて(12ページ)」
 冷房上限設定－暖房上限設定 ≥ 最小温度差
 冷房下限設定－暖房下限設定 ≥ 最小温度差
- ※4 自動モードの設定温度を制限できます。

手順

1. メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき(13ページ)」
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「制限設定」に合わせる。



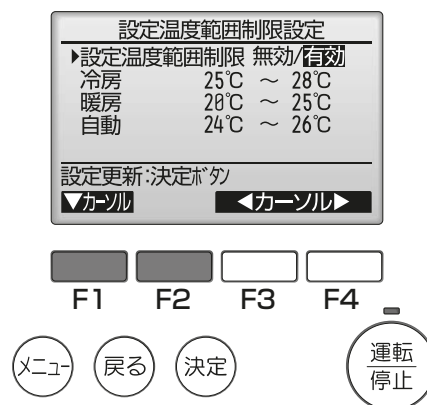
3. [決定] ボタンを押す。
制限設定情報画面に、現在の設定状況が表示されます。
4. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「設定温度範囲制限」に合わせる。



5. [決定] ボタンを押す。

設定温度範囲制限設定画面が表示されます。

6. [F1][F2] ボタンを押し、「設定温度範囲制限」「冷房」「暖房」「自動」のうち、変更したい項目にカーソルを合わせる。

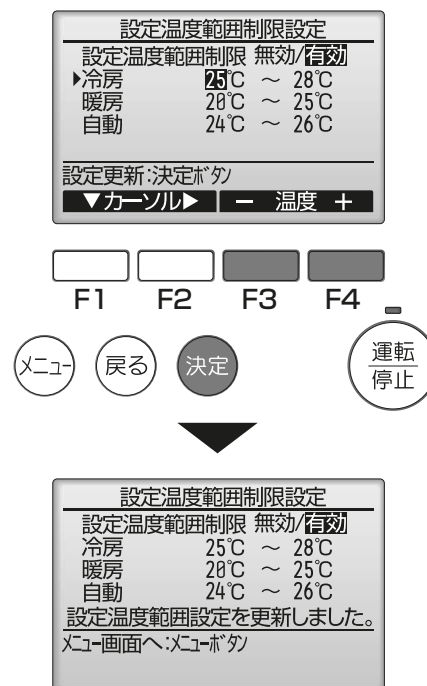



7. [F3][F4] ボタンを押し、各項目を設定する。

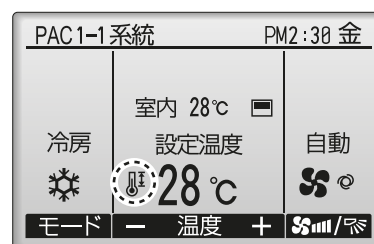
表示項目	表示内容	
設定温度範囲制限	無効	有効
冷房	上下限値を 1℃単位で表示	
暖房	上下限値を 1℃単位で表示	
自動	上下限値を 1℃単位で表示	

8. [決定] ボタンを押す。

設定確定画面が表示されます。

**お知らせ**

- 設定温度範囲制限設定が有効の場合、詳細メイン画面に「」が表示されます。



[2] 操作ロックを設定する

各項目のリモコン操作をロックします。

手順

1. 制限設定情報画面を表示する。
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「操作ロック」に合わせる。



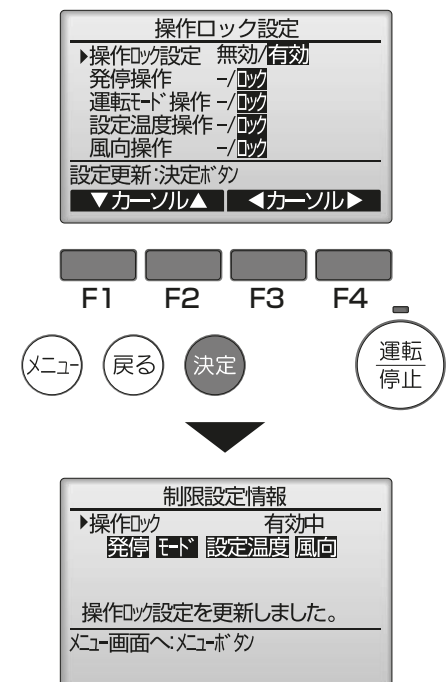
3. [決定] ボタンを押す。
操作ロック設定画面が表示されます。
4. [F1][F2] ボタンを押し、「操作ロック設定」「発停操作」「運転モード操作」「設定温度操作」「風向操作」のうち、変更したい項目にカーソルを合わせる。
5. [F3][F4] ボタンを押し、各項目を設定する。

表示項目	表示内容	
操作ロック設定	無効	有効
発停操作	—	ロック
運転モード操作	—	ロック
設定温度操作	—	ロック
風向操作	—	ロック


お知らせ

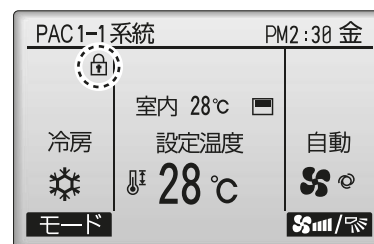
- 各項目の操作をロックするときは、操作ロック設定を「有効」にしてください。

6. [決定] ボタンを押す。
設定確定画面が表示されます。



お知らせ

- 操作ロック設定が有効の場合、詳細メイン画面に「」が表示され、操作ロックに対応する操作ガイドは表示されなくなります。



(設定温度ロック時の画面例)

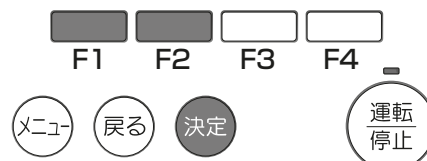
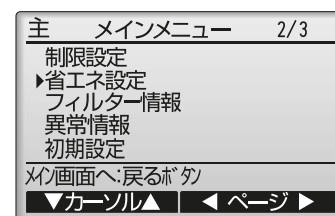
5-4-8. 省エネ設定

**[1] 設定温度自動復帰を設定する**

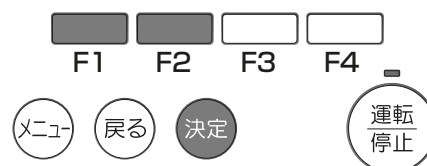
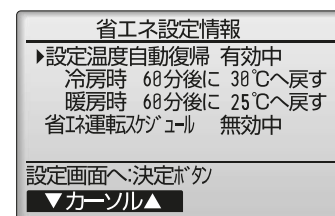
設定時間を経過すると、自動的に設定温度に戻ります。

手順

- メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき (13 ページ)」
- [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「省エネ設定」に合わせる。



- [決定] ボタンを押す。
省エネ設定情報画面に、現在の設定状況が表示されます。
- [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「設定温度自動復帰」に合わせる。



- [決定] ボタンを押す。
設定温度自動復帰設定画面が表示されます。

6. [F1][F2] ボタンを押し、「設定温度自動復帰」「冷房時」「暖房時」のうち、変更したい項目にカーソルを合わせる。

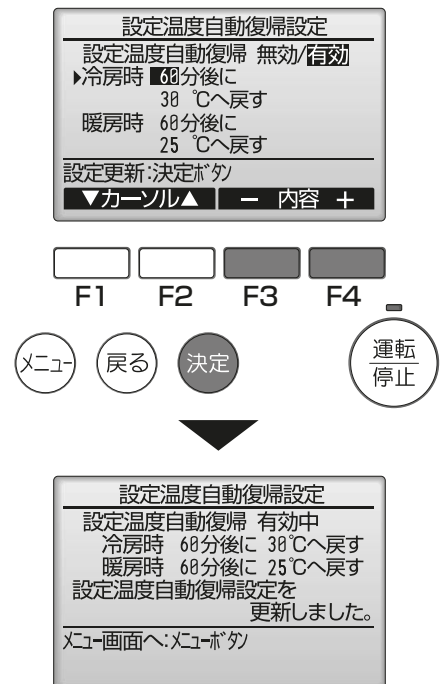


7. [F3][F4] ボタンを押し、各項目を設定する。

表示項目	表示内容	
設定温自動復帰	無効	有効
冷房時	時間	設定範囲 30 ~ 120 分のうち、10 分単位で設定
	温度	設定範囲 14 ~ 30 ℃のうち、1 ℃単位で設定
暖房時	時間	設定範囲 30 ~ 120 分のうち、10 分単位で設定
	温度	設定範囲 14 ~ 30 ℃のうち、1 ℃単位で設定

「冷房時」は自動冷房、「暖房時」は自動暖房を含みます。

8. [決定] ボタンを押し。
設定確定画面が表示されます。



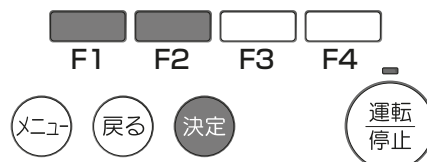
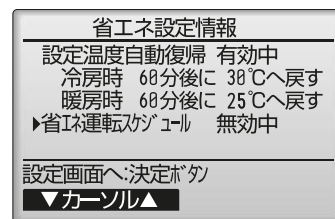
お知らせ

- 設定温度範囲制限設定が有効および集中管理中（禁止中の項目が「タイマー機能、設定温度」の場合）は、本設定は実行されません。
- 本リモコンで以下の操作を行うと、設定時間に関係なく設定温度が戻ります。
運転モード、運転 / 停止

[2] 省エネ運転スケジュールを設定する

手順

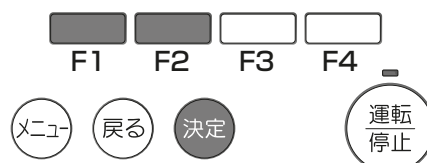
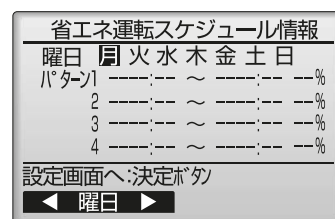
1. 省エネ設定画面を表示する。
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「省エネ運転スケジュール」に合わせる。



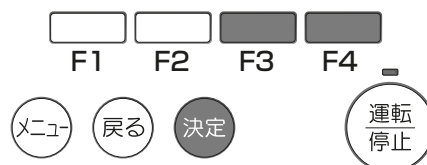
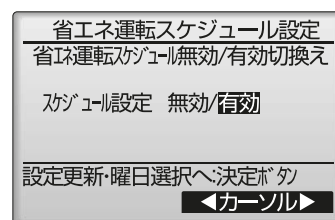
3. [決定] ボタンを押す。
省エネ運転スケジュール情報画面が表示されます。

お知らせ

- ・ [F1][F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。



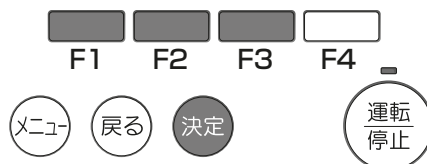
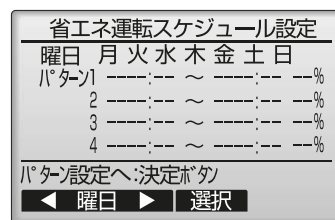
4. [決定] ボタンを押す。
省エネ運転スケジュール設定画面が表示されます。
5. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「無効/有効」に合わせる。



6. [決定] ボタンを押す。
設定が更新され、曜日選択画面が表示されます。
7. [F1][F2] ボタンを押し、設定したい曜日にカーソルを合わせる。
8. [F3] ボタンを押し、曜日を確定する。

お知らせ

- ・ 曜日は複数選択できます。



9. [決定] ボタンを押す。
パターン設定画面が表示されます。

お知らせ

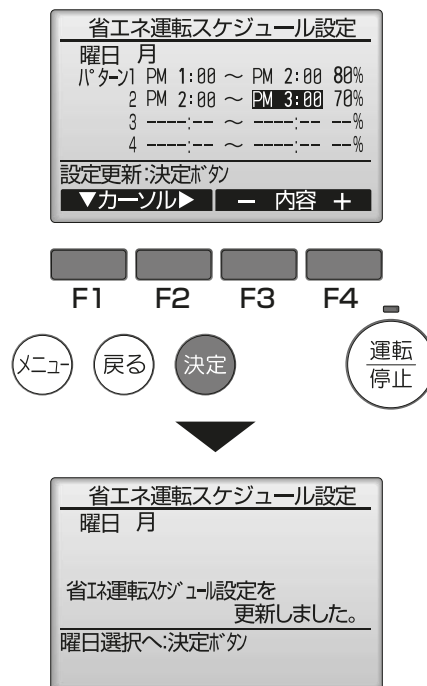
- ・ 1日4パターンまで設定できます。

10. [F1] ボタンを押し、設定したいパターンにカーソルを合わせる。
パターン設定画面が表示されます。
11. [F2] ボタンを押し、「開始時刻」「終了時刻」「能力セーブ値」のうち、変更したい項目にカーソルを合わせる。
パターン設定画面が表示されます。
12. [F3][F4] ボタンを押し、各項目を設定する。


表示項目	表示内容
開始時刻	5分単位で設定※1
終了時刻	5分単位で設定※1
能力セーブ値	設定範囲 90～50%、0%のうち、10%単位で設定

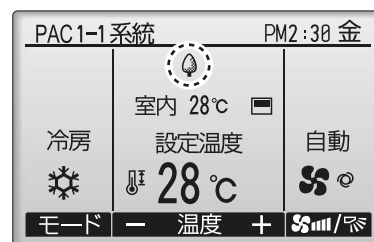
※1 ボタンを押し続けると、連続で数字が変わります。

13. [決定] ボタンを押す。
設定確定画面が表示されます。



お知らせ

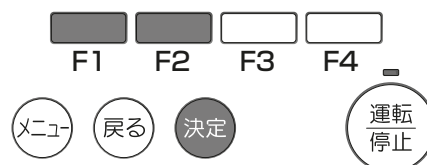
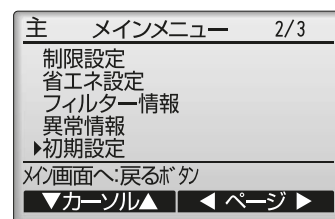
- ・ 能力セーブ値のパーセント (%) は圧縮機容量の概算値ですので、能力比とは必ずしも一致しません。
- ・ 能力セーブ値が低い程、省エネ効果が高くなります。
- ・ デマンド制御を他の機器と併用する場合、リモコンからの設定値と おりに機能しないことがあります。
- ・ 省エネ制御中は、詳細メイン画面に「」が表示されます。



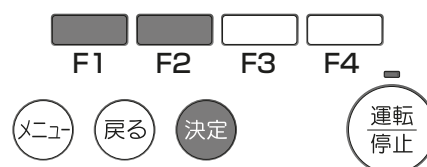
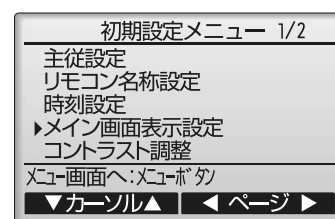
5-4-9. メイン画面表示設定

手順

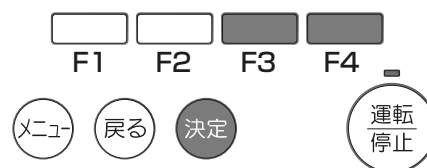
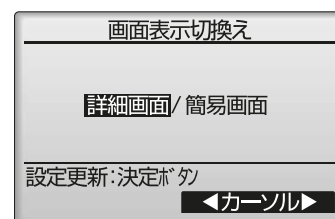
1. メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき (13 ページ)」
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「初期設定」に合わせる。



3. [決定] ボタンを押す。
初期設定メニュー画面が表示されます。
4. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「メイン画面表示設定」に合わせる。



5. [決定] ボタンを押す。
画面表示切換え画面が表示されます。
6. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「詳細画面 / 簡易画面」に合わせる。

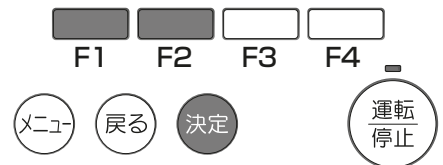
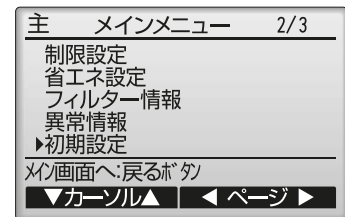


7. [決定] ボタンを押す。
設定確定画面が表示されます。

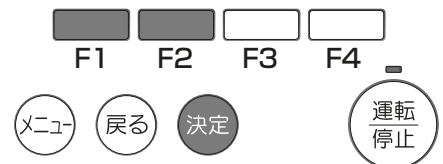
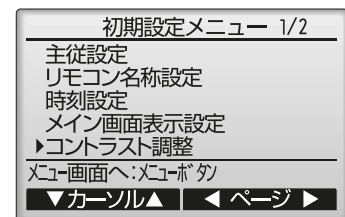
5-4-10. コントラスト調整

手順

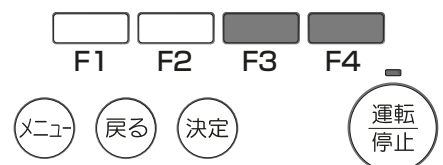
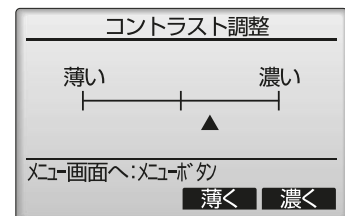
1. メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき（13 ページ）」
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「初期設定」に合わせる。



3. [決定] ボタンを押す。
初期設定メニュー画面が表示されます。
4. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「コントラスト調整」に合わせる。



5. [決定] ボタンを押す。
コントラスト調整画面が表示されます。
6. [F3][F4] ボタンを押し、希望の位置にカーソルを合わせる。



7. [メニュー] または [戻る] ボタンを押す。
メインメニュー画面または前の画面が表示されます。

5-4-11. 機能選択

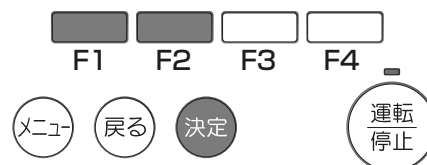
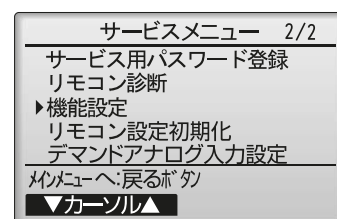
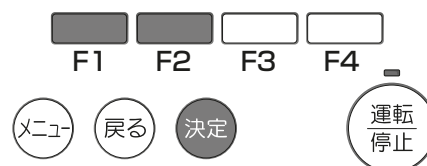
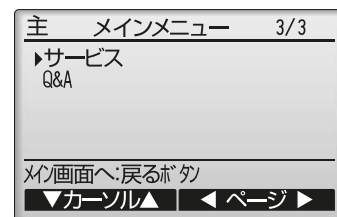


必要に応じ、リモコンから各室内ユニットの機能を設定します。

- 変更が必要な場合のみ設定してください。
- 室内ユニットの出荷設定内容・機能設定 No.・機能設定値については、ユニットの据付工事説明書を参照してください。
- 機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合、すべての設定内容を紙に記録するなど、設定状態を管理してください。

手順

1. メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき (13 ページ)」
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「サービス」に合わせる。
3. [決定] ボタンを押し。
パスワード入力画面が表示されます。
4. 現在設定されているサービス用のパスワード (4 桁) を入力する。
5. [決定] ボタンを押し。
パスワードが一致すると、サービスメニュー画面が表示されます。
6. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「機能選択」に合わせる。
7. [決定] ボタンを押し。
機能選択画面が表示されます。
8. 現在の設定値を確認する場合は、[F1][F2] ボタンを押し、確認したい室内ユニットの「M-NET アドレス」、「機能設定 No.」のうち、確認したい項目にカーソルを合わせる。
9. [F3][F4] ボタンを押し、「実行内容選択」の「確認」にカーソルを合わせる。
10. [決定] ボタンを押し。
確認中画面が表示され、確認が完了すると機能設定値が表示されます。
11. [F1][F2] ボタンを押し、室内ユニットの「M-NET アドレス」、「機能設定 No.」、「機能設定値」のうち、変更したい項目にカーソルを合わせる。



12. [F3][F4] ボタンを押し、各項目を設定する。
13. [決定] ボタンを押す。
設定情報送信画面が表示され、送信が完了すると設定完了画面が表示されます。
14. 続けて設定を行う場合は、[戻る] ボタンを押す。
機能選択画面に戻ります。
15. 前述の手順で他の室内ユニット、「M-NET アドレス」、「機能設定 No.」、「機能設定値」を設定する。



お知らせ

- 室内制御基板をサービス交換した場合、再設定が必要です。
- 室内制御基板を交換した場合、前述の手順で設定してください。その際、交換前の設定値が必要となるため、設定値を以下の表に記入しておいてください。

アドレス	機能設定 No.	機能設定値

アドレス	機能設定 No.	機能設定値

■設定値の初期化方法

機能項目別初期化	前記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレス、機能設定 No. を選択し、「機能設定値」を「15」に設定します。
全項目初期化	前記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレスを選択し、機能設定 No. を「255」、「機能設定値」を「1」に設定します。全ての項目に対して、設定値を初期化します。

機能設定一覧表

機能設定 No.	機能詳細	機能設定値	設定内容
25	暖房サーモ OFF 時風量 暖房サーモ OFF 時の風量を設定します。停止を選択の場合は、別売サーモを使用ください。機能設定値を“1”に設定しても静風圧設定によっては風量が下がらない場合もあります。	1	設定風量の 50 ~ 85%風量
		2	停止
		3	設定風量
27	冷房サーモ OFF 時風量 冷房サーモ OFF 時の風量を設定します。停止を選択の場合は、別売サーモを使用ください。機能設定値を“1”に設定しても静風圧設定によっては風量が下がらない場合もあります。	1	設定風量の 50 ~ 85%風量
		2	停止
		3	設定風量
58	余熱排除時間 余熱排除の時間を設定します。	1	1 分
		2	2 分
		3	3 分 5 秒
		4	4 分
		5	5 分
		6	6 分
67	自動モード種 シングル (設定温度 1 値)、デュアル (設定温度 2 値) を設定します。	1	1 値
		2	2 値
71	余熱排除動作 実施モード 余熱排除を行うモードを設定します。	1	暖房
		2	全モード
72	設定温度差最小値 自動モード種においてデュアルオートモード選択時、冷房設定温度と暖房設定温度の最小差を設定します。	3	1.5℃
		4	2.0℃
		5	2.5℃
		6	3.0℃
		7	3.5℃
		8	4.0℃
		9	4.5℃
80	運転停止個別パルス入力有効切り替え 運転停止パルス入力の入力方法 (1パルス / 2パルス) を設定します。	1	通常設定 (個別無効)
		2	個別有効
82	4 段デマンド切替 2 段階デマンド / 4 段階デマンドを設定します。	1	2 段階デマンド
		2	4 段階デマンド
89	ホットアジャスト時 室内送風機動作 ホットアジャスト時の室内送風機の動作を設定します。	2	冷風感防止設定
		3	循環風量確保設定
		4	冷風感防止・風量確保兼用設定
94	室外機停電時設定 (BCP 設定) 室外機停電時の室内送風機の動作を設定します。	1	不可
		2	送風運転可能
98	遠方出力 (暖房 / 冷房) 設定 遠方出力での“暖房”出力を“油回収中”へ変更します。	1	暖房と冷房
		2	油回収中と冷房
100	静風圧設定設定変更用パラメータ 静風圧設定を変更する場合は据付工事説明書を参照ください。	-	据付工事説明書参照
101	静風圧設定設定変更用パラメータ 静風圧設定を変更する場合は据付工事説明書を参照ください。	-	据付工事説明書参照
255	全項目クリア	1	全項目クリア実施

- 機能設定値が太字の項目は、出荷時設定です。
- 機能設定値欄に記載のない数値には設定しないでください。
- 機能設定 No.80、82 は両方とも機能設定値を「2」にしないでください。正常に動作しない場合があります。いずれかの機能設定値のみ「2」にしてください。
- 除湿制御仕様 (受注) の場合、機能設定 No.80、82 は使用できません。出荷時設定のままとしてください。

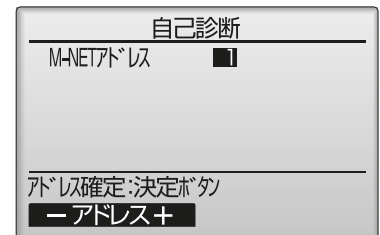
5-4-12. 自己診断

リモコンで各ユニットの異常履歴の検索/リセットをします。

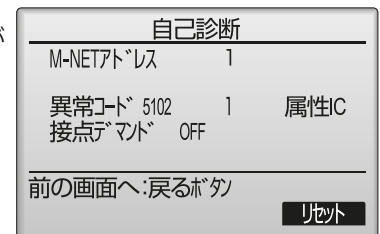
[1] 異常履歴の検索

手順

1. サービスメニュー画面を表示する。
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「自己診断」に合わせる。
3. [決定] ボタンを押し。
自己診断画面が表示されます。
4. [F1][F2] ボタンを押し、「M-NET アドレス」を入力する。



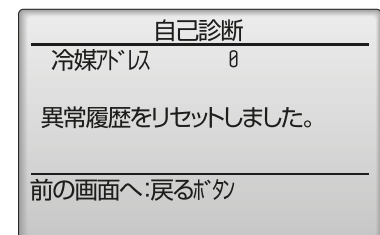
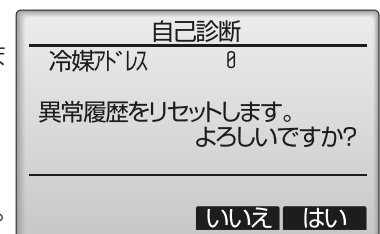
5. [決定] ボタンを押し。
「異常コード」、「属性」、室内ユニットの「接点デマンド ON/OFF」状態が表示されます。異常履歴が無い場合は、「-」が表示されます。



[2] 異常履歴のリセット

手順

1. 異常履歴表示中に [F4] (リセット) ボタンを押し。確認画面が表示されます。
2. [F4] ボタン (はい) を押し。
室内ユニットの異常履歴を消去します。
消去できなかった場合、「正常に終了できませんでした。」が表示されます。
ユニットから応答が無い場合、「対象室内ユニットが存在しません。」が表示されます。



5-4-13. サービス用パスワード登録

サービスメニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。

手順

1. サービスメニュー画面を表示する。
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「サービス用パスワード登録」に合わせる。
3. [決定] ボタンを押し。
サービス用パスワード登録画面が表示されます。

サービス用パスワード登録		
サービス用パスワード入力		
■234		
新しいサービス用パスワードを 入力してください。		
入力確定:決定ボタ		
◀カーソル▶	-	+

4. [F1][F2] ボタンを押し、各桁にカーソルを合わせる。
5. [F3][F4] ボタンを押し、0～9の数字を入力する。
6. [決定] ボタンを押し。
更新確認画面が表示されます。

サービス用パスワード登録		
サービス用パスワード入力		
2345		
サービス用パスワードを更新します。 よろしいですか?		
いいえ はい		

7. 更新する場合は [F4] ボタン (はい) を押し。
取り消す場合は [F3] ボタン (いいえ) を押し。
パスワードを更新した場合、更新完了画面が表示されます。
8. [メニュー] ボタンを押し、サービスメニューへ、または [戻る] ボタンを押し、サービス用パスワード登録画面に戻る。

サービス用パスワード登録		
サービス用パスワード入力		
2345		
サービス用パスワードを 更新しました。		
サービスメニューへ:メニューボタ		

5-4-14. リモコン診断

リモコンの操作がきかない場合、本機能によりリモコンを診断してください。

[1] リモコン表示が無い場合

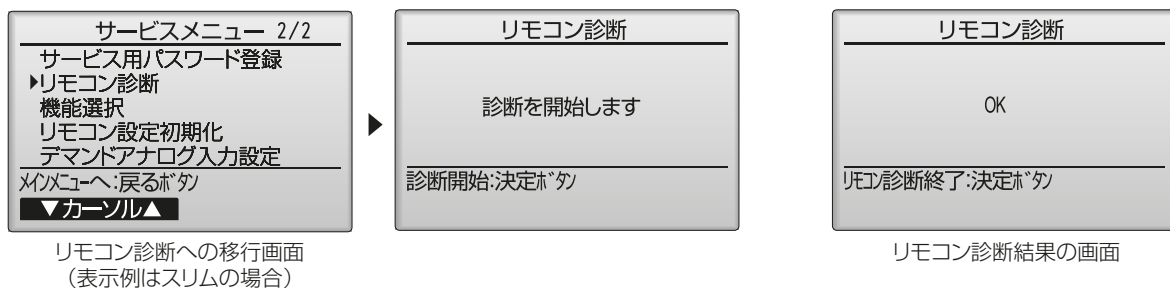
手順

1. リモコン配線、室内ユニットを点検する。
リモコンに正常な電圧（DC8.5～12V）が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。

[2] リモコン表示がある場合

手順

1. サービスメニュー画面を表示する。
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「リモコン診断」に合わせる。
3. [決定] ボタンを押し。
リモコン診断を開始し、診断結果を表示します。



診断結果	対処方法
OK	リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。
6832	伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。
NG (ALLO、ALL1)	リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。
ERC (データエラー数)	データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

お知らせ

- ・ リモコン診断をしない場合は、[メニュー] または [戻る] ボタンを押してください。
リモコン診断メニューを終了します。リモコンは再立ち上げしません。

4. [決定] ボタンを押し。
リモコン診断を終了し、自動的に再立ち上げを開始します。

5-4-15. リモコン設定初期化



リモコンを初期化して、工場出荷時の状態に戻すことができます。

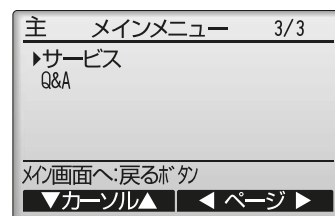
下記項目を初期化することができます。

- ・ タイマー設定、週間スケジュール設定、室外サイレントモード設定、省エネ設定、主従設定、リモコン名称、時刻設定、メイン画面表示設定、コントラスト設定、リモコン表示設定、自動モード設定、形名登録、製造 No. 登録、販売店・サービス店登録、異常情報、管理者用パスワード、サービス用パスワード

手順

1. メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき (13 ページ)」

2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「サービス」に合わせる。



3. [決定] ボタンを押し。

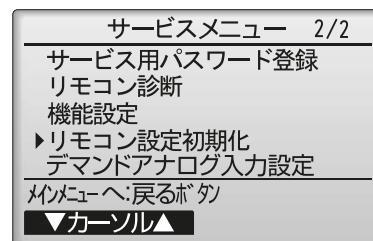
パスワード入力画面が表示されます。

4. 現在設定されているサービス用のパスワード (4 桁) を入力する。

5. [決定] ボタンを押し。

パスワードが一致すると、サービスメニュー画面が表示されます。

6. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「リモコン設定初期化」に合わせる。



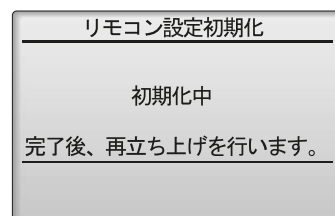
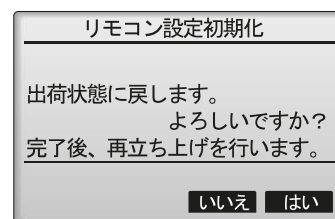
7. [決定] ボタンを押し。

確認が表示されます。

8. [F4] ボタン (はい) を押し。

初期化が実行されます。

初期化完了後、自動的に再立ち上げを開始します。



5-4-16. 異常情報

異常が発生した場合、以下の異常画面に異常コード、異常発生元、M-NET アドレス、形名、製造番号が表示されます。下記手順で異常内容を確認のうえ、運転を停止し、お買上げの販売店（工事店・サービス店）に連絡してください。

手順

1. [F1][F2] ボタンを押し、次のページを表示する。
異常情報画面に、連絡先情報（販売店名、販売店の電話番号、サービス店名、サービス店の電話番号）が表示されます。

お知らせ

- ・ 形名、製造番号は、あらかじめ手入力されている場合に表示されず。
2. もう一度 [F1][F2] ボタンを押し、次のページを表示する。
異常情報画面に、携帯電話点検コード検索サービスサイトのアクセス先が表示されます。

3. 発生中の異常を解除する場合は [F4] ボタン（リセット）または [運転 / 停止] ボタンを押す。

お知らせ

- ・ 運転 / 停止操作禁止中は、異常解除できません。
4. [F4] ボタン（はい）を押す。
異常をリセットします。



お知らせ

- 異常が発生していないときに、メインメニュー画面で「異常情報」を選択すると、異常情報画面の 2/3、3/3 ページの内容を確認することができます。
異常リセットはできません。

**5-4-17. Q&A**

下記のような Q&A を見ることができます。
代表的なトラブルシューティング、通常画面に表示されるアイコンの意味

手順

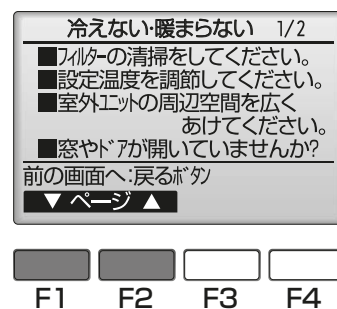
- メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。
「各部の名称とはたらき (13 ページ)」
- [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「Q&A」に合わせる。



- [決定] ボタンを押し。
Q&A 画面が表示されます。
- [F1][F2] ボタンを押し、確認したい項目にカーソルを合わせる。
- [決定] ボタンを押し。
対応方法が表示されます。

お知らせ

- 項目により複数のページがある場合は、[F1][F2] ボタンを押し、ページを切り替えます。



5-5. その他の操作について

5-5-1. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

手順

1. 4～5 時間、送風運転してユニット内部を乾燥させる。
2. 室内・室外ユニットの電源を切る。

[2] 再度使い始めるとき

- 下記手順 1～4 の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。
- ・ユニットの電源を「入」にしてから 12 時間以上経過後、運転を開始してください。

手順

1. フィルターを清掃して、取り付ける。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。
室内ユニットにも取り付けがある場合があります。

お願い

- ・再度アース工事を行う場合は販売店（工事店・サービス店）に相談してください。
4. ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどが無いことを確認する。
 5. 運転開始の 12 時間以上前からユニットの電源を「入」にする。

5-5-2. データモニタリング機能

作業の手間を大幅に削減します。

室内に居ながら室外・室内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。

メンテナンス情報

圧縮機	積算運転時間 ※2
	ON-OFF 回数 ※1
	運転電流
室外ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	外気温度
	吐出圧力【高圧】
	吸入圧力【低圧】
	吐出温度
	高圧圧力飽和温度
SC 液側温度 ※3	

室内ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	吸込温度
	フィルター使用時間
	FAN 運転時間 ※2

※1 圧縮機 ON-OFF 回数は 100 回単位でデータ更新します。

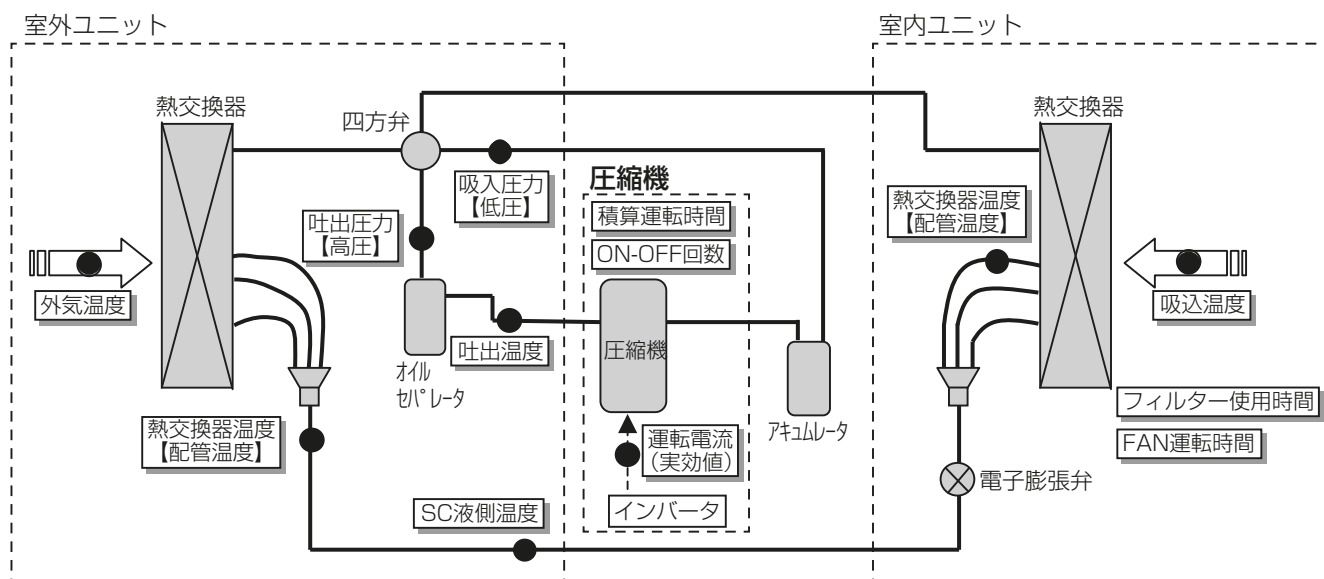
例：実際の圧縮機 ON-OFF 回数が 99 回の場合はリモコン表示は 0 回となり、101 回の場合はリモコン表示は 100 回となります。

※2 圧縮機積算時間、FAN 運転時間は、10 時間単位でデータ更新します。

例：実際の運転時間が 9 時間の場合リモコン表示は 0 時間となり、11 時間の場合リモコン表示は 10 時間となります。

※3 本ユニットは、SC 液側温度サーミスターがないため、SC 液側温度は「未対応」と表示されます。

メンテナンス情報イメージ



運転時間積算を利用するとき

- 端数の取り扱い
 通電が停止するとカウントされる前の端数（FAN 運転時間は 1 ～ 9 時間、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 ～ 59 分）は 0 に戻ります。
 運転時間積算を利用するときは、通電したままにしてください。なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間（FAN 運転時間は 10 時間単位以上、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 時間単位以上）は保持されます。
- フィルター使用時間
 “フィルター清掃” 表示設定時は MA リモコン操作で使用時間がリセットできます。
 非表示設定時はリセットできません。

5-5-3. メンテナンスモード操作

データモニタリング機能を使用するときは室外・室内ユニットのパネルを外さないでください。

[1] メンテナンスモードへの切替えについて

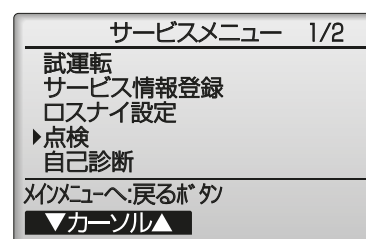
メンテナンスモードには、運転中のみ切り替えしてください。

- ユニット停止中・点検中はメンテナンスモードへ切り替えしないでください。
- 試運転中は入れません。
- リモコン従設定の場合は、メンテナンスモードには入れません。
- 集中管理中はメンテナンスモードには入れません。

[2] 操作方法

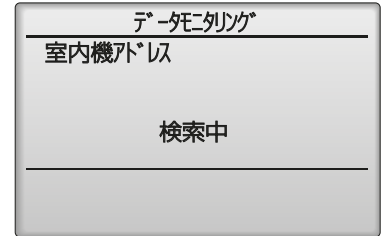
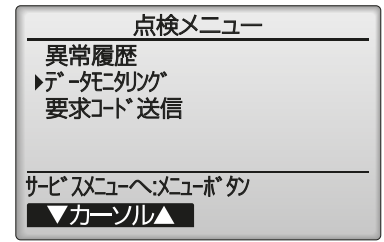
手順

1. サービスメニュー画面で [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「点検」に合わせる。
2. [決定] ボタンを押し。
 点検メニュー画面が表示されます。



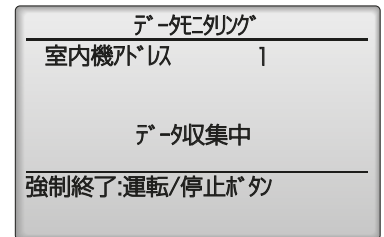
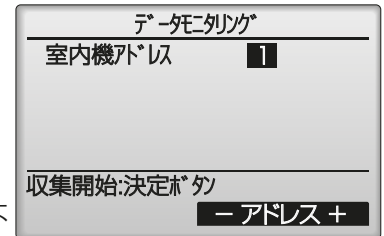
3. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「データモニタリング」に合わせる。
4. [決定] ボタンを押し。

データモニタリング画面に移行し、MA リモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

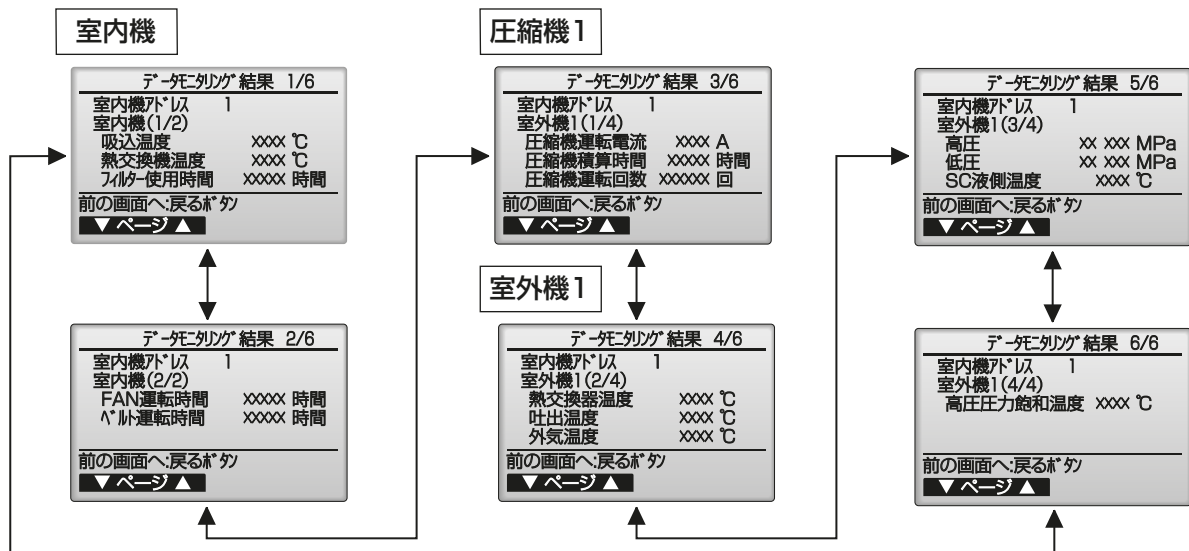


5. [F3][F4] ボタンを押し、「室内機アドレス（制御基板）」を選定する。
6. [決定] ボタンを押し。

データの収集が開始され、約5分後データ収集が完了します。収集されるデータは、手順5. で選択したアドレスの室内ユニット（制御基板）情報およびこの室内ユニットと同一冷媒系に接続された室外ユニットの情報になります。



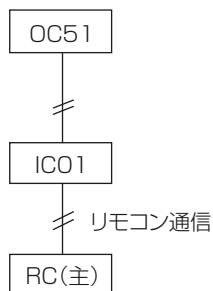
7. [F1][F2] ボタンを押し、各ユニットの情報を表示する。
 - [F1][F2] ボタン操作により画面が遷移します。
 - 圧縮機の運転電流はインバータから圧縮機への電流の実効値になります。
 - 本ユニットは SC 液側温度サーミスターがないため、SC 液側温度は「未対応」と表示されます。



8. データモニタリングを解除する場合は、[メニュー] または [戻る] ボタンを押す。

室外ユニット、圧縮機データをモニタリングする場合、室外ユニットに接続されている (M-NET 通信線) 室内ユニットアドレスを選定してください。

操作例



上記システムの室外ユニット (OC51) の情報をモニターする場合
 ・室内ユニットアドレス 01 を設定します。

モニターする各ユニットの表示は下記となります。

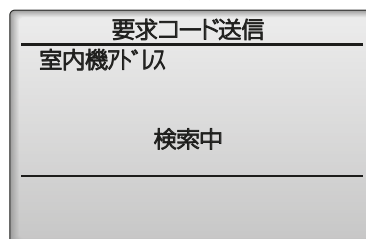
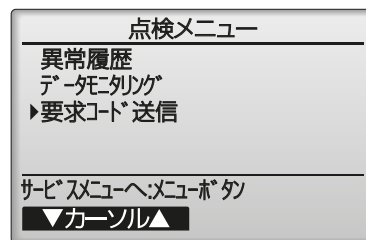
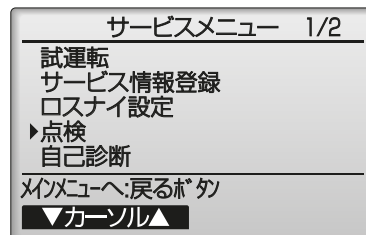
- ・室内機 = IC01
- ・室外機 1 = OC51
- ・圧縮機 1 = OC51

[3] データを個別にモニタしたい場合

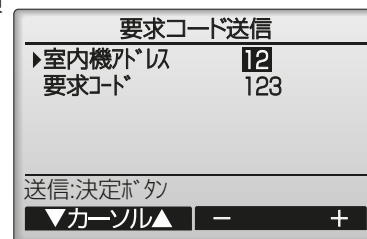
手順

1. サービスメニュー画面で [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「点検」に合わせる。
2. [決定] ボタンを押す。
点検メニュー画面が表示されます。
3. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「要求コード送信」に合わせる。
4. [決定] ボタンを押す。

要求コード送信画面に遷移し、MA リモコンが接続された室内ユニット (制御基板) の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

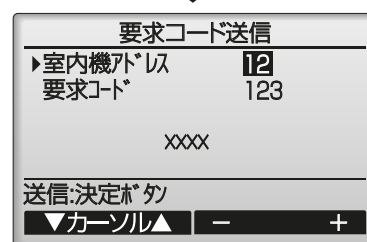
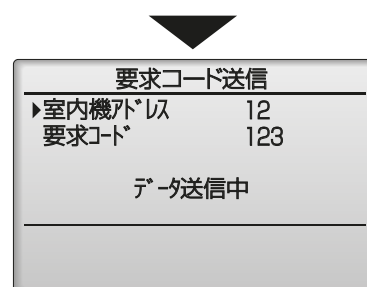


5. [F1][F2][F3][F4] ボタンを押し、モニタしたいユニット情報に関する項目の要求コード（下表参照）を設定する。



データモニタ先	モニタ項目	要求コード	表示単位
圧縮機 1	運転電流	1	A
	積算運転時間	2	hr
	ON-OFF 回数	3	回
室外機 1	吐出温度	4	℃
	外気温度	9	℃
	吐出圧力【高圧】	50	MPa
	吸込圧力【低圧】	51	MPa
	熱交換器温度【配管温度】	52	℃
室内機	高圧圧力飽和温度	97	℃
	ファン回転数（指令値）	147	rpm

6. [決定] ボタンを押す。
データの収集が始まり、約 10 ～ 20 秒後にモニタしたデータが表示されます。

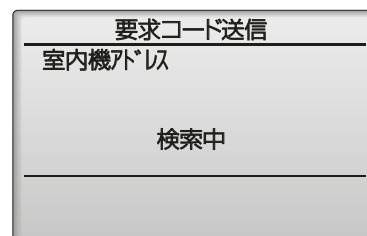
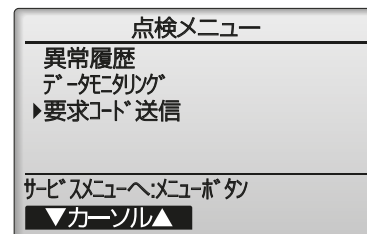
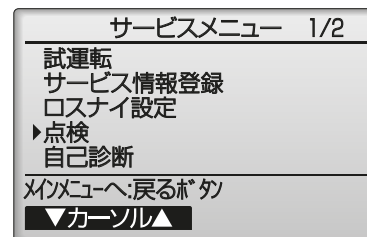


[4] ファン運転時間をリセットする場合

手順

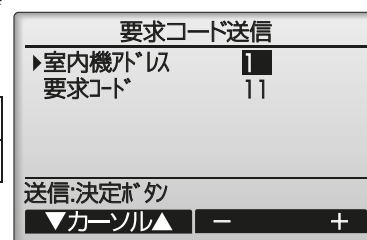
1. サービスメニュー画面で [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「点検」に合わせる。
2. [決定] ボタンを押し。
点検メニュー画面が表示されます。
3. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「要求コード送信」に合わせる。
4. [決定] ボタンを押し。

要求コード送信画面に遷移し、MA リモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

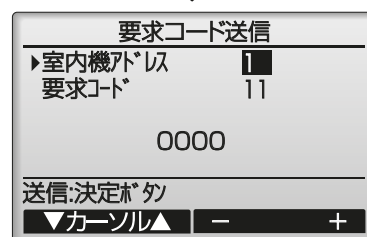
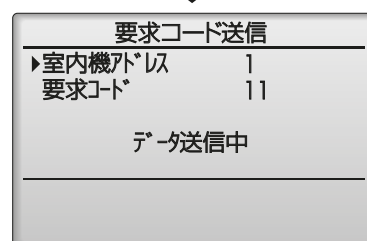


5. [F1][F2][F3][F4] ボタンを押し、リセットしたい室内ユニット（制御基板）のアドレス、およびリセットしたい情報の要求コード（下表参照）を設定する。

データモニタ先	設定項目	要求コード	表示単位
室内機	FAN モーター運転時間リセット	11	-




6. [決定] ボタンを押し。
データがリセットされます。



6. お手入れ

警告


ぬれた手袋は使わない。
 ◆ 感電の原因になります。



ぬれ手
禁止

掃除・整備・点検をするときは、運転を停止して、主電源を切る。


- ◆ 運転中や主電源が入った状態で作業すると、けが・感電の原因になります。
- ◆ 回転機器により、けがの原因になります。



指示を
実行

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業する。

- ◆ 落下・転倒により、けがの原因になります。




指示を
実行

注意

部品端面・ファン・熱交換器のフィン表面に触れるときは保護具を身に付ける。


- ◆ けが・感電・故障の原因になります。



指示を
実行

吸込パネルを取り付ける場合、スリングも取り付ける。


- ◆ 吸込パネルを開けたとき、手前に倒れると、けがの原因になります。



指示を
実行

作業する場合は保護具を身に付ける。


- ◆ けがの原因になります。



指示を
実行

フィルター・熱交換器は定期的に点検・清掃する。


- ◆ 故障の原因になります。



指示を
実行

滑り止めのある手袋を使う。


- ◆ けがの原因になります。



指示を
実行

清掃カバーを開閉する場合は、保護具を身につける。


- ◆ 熱交換器のフィンに触れると、けがの原因になります。



指示を
実行

フィルターを取り外すときは、保護具を身につける。


- ◆ ほこりが目に入り、けがの原因になります。



指示を
実行

清掃カバーを開閉する場合は、取っ手部を持つ。

- ◆ 部品に手を挟むと、けがの原因になります。
- ◆ マグネットに指を挟むと、けがの原因になります。



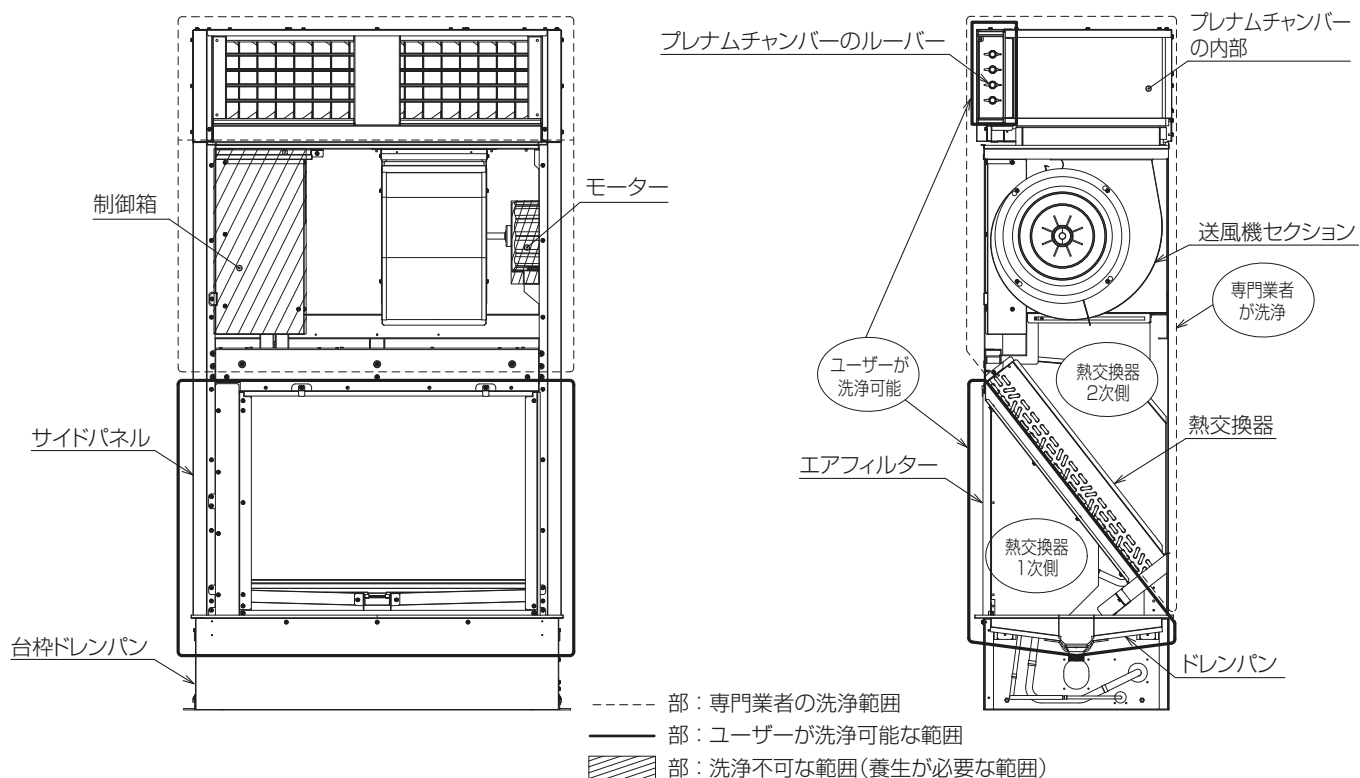
指示を
実行

- ◆ お手入れの前には電源を「切」にしてから行ってください。
 室内ユニット電源「切」にした後、室外ユニット電源を「切」にしてください。

6-1. 洗浄作業区分

本ユニットは、ユーザーが洗浄可能な範囲と専門業者のみが洗浄可能な範囲に分かれています。
下記作業区分に従って、洗浄作業を行ってください。

	洗浄可能範囲				
	外装パネル表面	熱交換器 1 次側	熱交換器 2 次側	プレナムチャンパー ルーバー	プレナムチャンパー 内部
ユーザー	●	●	×	●	×
専門業者	●	●	●	●	●



6-2. 取外し部品質量

洗浄作業時に取り外す部品質量は、下表のとおりです。

お願い

- ・ 1人で部品の取外しや運搬をするのが難しい場合は、2人以上で作業をしてください。
部品を落とすと、破損の原因になります。

製品	形名	部品名	質量 [kg/個]
本体	PFAV-P280DMWJ	吸込パネル	約 7.5
		下部フィルター支え	約 1.0
		フィルター	約 2.0
		前上パネル	約 8.5
	PFAV-P560DMWJ	吸込パネル	約 10.5
		中央フィルター支え	約 0.5
		下部フィルター支え	約 1.5
		フィルター	約 2.0
		前上パネル	約 12.5
	オイルフィルターユニット (別売部品)	PAC-CS74UTB	吸込パネル
オイルパン			約 1.5
PAC-CS76UTB		吸込パネル	約 13.5
		中央フィルター支え	約 0.5
オイルフィルター (別売部品)	PAC-CS84UF	フィルター	約 5.0
	PAC-CS86UF	フィルター	約 4.0
フィルターユニット (別売部品)	PAC-CS64SFB	吸込パネル	約 7.0
	PAC-CS66SFB	吸込パネル	約 9.5
		中央フィルター支え	約 0.5
中性能フィルター (別売部品)	PAC-CS54SMF	中性能フィルター	約 3.5
	PAC-CS56SMF	中性能フィルター	約 2.5
高性能フィルター (別売部品)	PAC-CS34SHF	高性能フィルター	約 3.5
	PAC-CS36SHF	高性能フィルター	約 2.5
ハイメッシュフィルター (別売部品)	PAC-CS24HF	ハイメッシュフィルター	約 2.0
	PAC-CS26HF	ハイメッシュフィルター	約 2.0
ロングライフフィルター (別売部品)	PAC-CS44LF	ロングライフフィルター	約 2.5
	PAC-CS46LF	ロングライフフィルター	約 2.5
プレナムチャンバー (別売部品)	PAC-CD14PL	ルーバー組立	約 9.5
	PAC-CD16PL	ルーバー組立	約 13.5


6-3. ユーザー用お手入れの方法

6-3-1. エアフィルターの清掃

お願い

- フィルターは定期的に清掃してください。
フィルターが目詰まりし、通過面が変形する可能性があります。
使用環境にもよりますが、1回/週～月が目安です。

フィルターサイン表示設定有りの場合

- フィルターお手入れ時期になると、リモコンの詳細メイン画面に「

[1] フィルターの着脱

(1) 取外し

警告

ぬれた手袋は使わない。

- 感電の原因になります。



ぬれ手
禁止

注意

滑り止めのある手袋を使う。

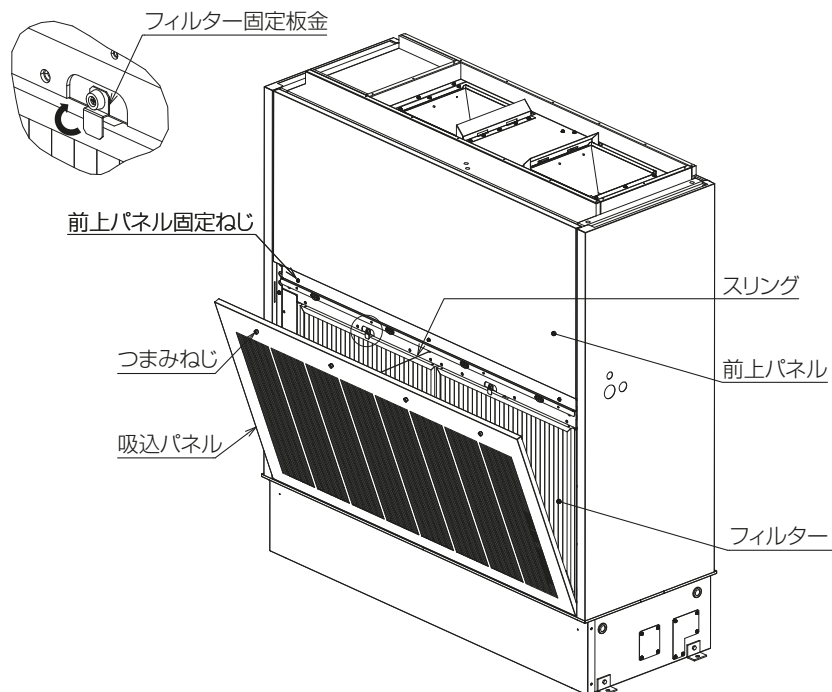
- けがの原因になります。



指示を
実行

手順

1. 本体下側の吸込パネルのつまみねじ（P280 形：2 か所、P560 形：4 か所）を緩める。
 2. 吸込パネルを手前に倒し、スリングを本体から取り外した後、手前上方に持ち上げて取り外す。
 3. フィルター固定板金を上側に回転させ、フィルターを手前に倒し、上に持ち上げて取り外す。
- ※ フィルターユニット（別売部品）、オイルフィルター（別売部品）を取付けている場合は、製品に付属の取付説明書を参照し、取り外してください。



(2) 取付け

注意

吸込パネルを取り付ける場合、スリングも取り付ける。

- ・吸込パネルを開けたとき、手前に倒れると、けがの原因になります。

**手順**

1. フィルター清掃後、(1) 取外しと逆手順で行う。

お願い

- ・フィルターを取外した状態で運転しないでください。内部にごみなどが詰まり、故障の原因になります。

[2] フィルターの清掃

別売部品のフィルターをご使用の場合、指定のページを参照してください。「別売部品の取扱い (74 ページ)」

手順

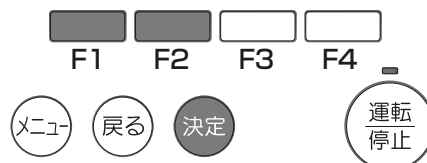
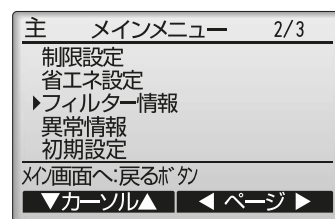
1. フィルターのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いする。
 - ・汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
 - ・洗剤が残らないようにすすいでください。
 - ・熱湯 (約 50℃以上) で洗わないでください。変形することがあります。
 - ・もみ洗いや強く絞ることは避けてください。
2. 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。
 - ・フィルターは日光や直接火にあてて乾かさなないでください。

お願い

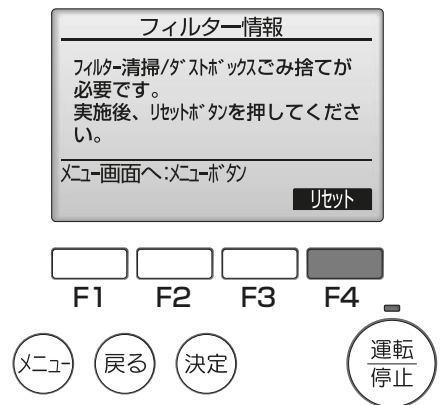
- ・清掃時、フィルターを押さえている網を変形させないでください。

[3] フィルター情報・フィルターサイン解除**手順**

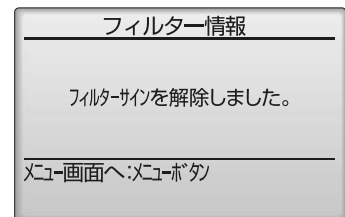
1. メインメニュー画面でカーソルをフィルター情報に合わせる。操作詳細は、指定のページを参照してください。「メインメニュー画面での操作のしかた (21 ページ)」
2. [決定] ボタンを押す。






3. [F4] ボタンを押す。
 フィルター情報がリセットされます。

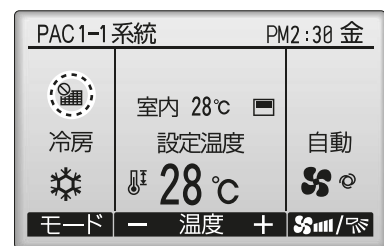


4. [F4] ボタン (はい) を押す。
 設定確定画面が表示されます。



お知らせ

- 詳細メイン画面に「」が表示される場合、集中管理中のためフィルターサインを解除できません。
- 2台以上の室内ユニットが接続されている場合、フィルターの種類により清掃時期が異なることがあります。
- 「」表示は、代表機種（親機）の清掃時期に表示されます。フィルターサインの解除を行うとすべての積算時間がリセットされます。
- 「」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
- フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。



6-3-2. パネル（表面）の清掃

注意

作業する場合は保護具を身に付ける。

• けがの原因になります。



指示を
実行

手順

1. 中性洗剤を含ませた布で、パネルに付着した汚れを拭く。
2. 最後に乾いた布で洗剤が残らないよう拭き取る。

お願い

- ベンジン・シンナーは使用しないでください。

6-3-3. ユニット内部の洗浄

注意

作業する場合は保護具を身に付ける。

• けがの原因になります。



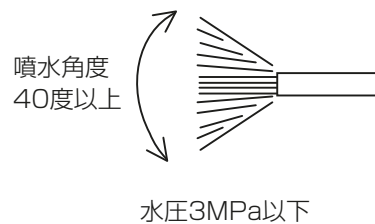
指示を
実行

お願い

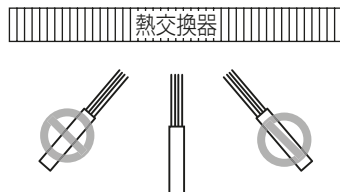
- 洗浄水の排水処理方法を確認してから洗浄してください。
- 高圧洗浄機を使用する場合は、設定圧が許容上限圧力 3MPa 以下にできることを確認してください。
- 洗浄時、付着している小麦粉などの固形物が排水管に流れてドレン管やドレントラップにごみが詰まらないよう、市販の排水口ネットで受けるなどの処理をしてください。
- ブラシやスチーム洗浄機は使用しないでください。

6. お手入れ

- 高圧洗浄機を使用する場合は 3MPa 以下、噴水角度 40 度以上で使用してください。



- 熱交換器に対して垂直に水をかけてください。
高圧洗浄機の使用有無に関わらず角度がついた状態で高圧の水をかけると、フィンが変形する原因になります。



- 高圧洗浄機を使用しない場合の水量は **20 ℓ /min 以下** にしてください。
- **2分以上局所的に水を掛け続け**ないでください。
ドレンパン外周に水が溜まる原因になります。水を掛けても汚れを取り除くことができない場合は、湿らせた布などで拭いて取り除いてください。
- **熱湯（約 50℃以上）** を使用しないでください。
変形・故障の原因になります。
- 洗浄、消毒に**酸・アルカリ性の薬剤は使用**しないでください。
- 洗剤を使用する場合は、**中性洗剤**を使用してください。
中性洗剤を使用後は、洗剤を水でよく洗い流してください。

6-3-4. 熱交換器（1次側）・ドレンパン・サイドパネル（内部）の洗浄

 **注意**

作業する場合は保護具を身に付ける。

- ◆ けがの原因になります。



[1] 洗浄前の準備

 **注意**

清掃カバーを開閉する場合は、取っ手
部を持つ。

- ◆ 部品に手を挟むと、けがの原因になります。
- ◆ マグネットに指を挟むと、けがの原因になります。



(1) 機器周辺

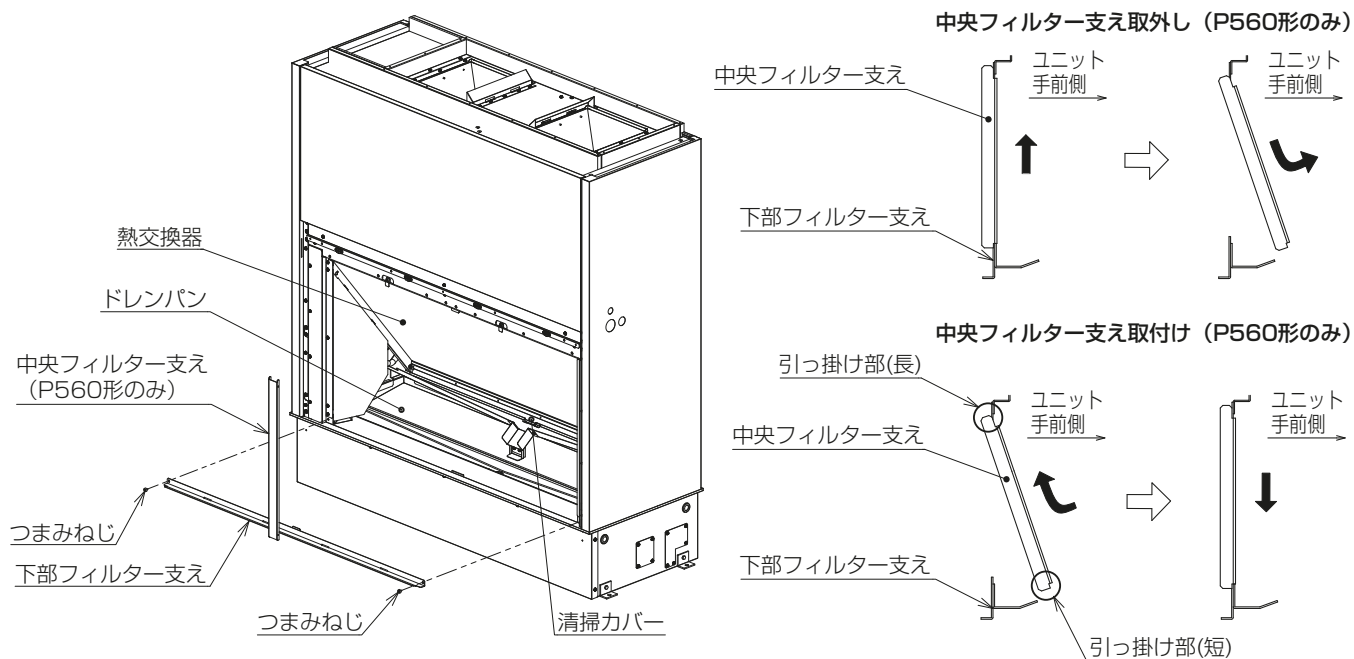
手順

- 濡れると困るものを片付け、ユニット周囲を養生する。
- 洗浄水の排水処理方法を確認する。
直接ドレン排水管に流せない場合に、ドレン排水口を養生テープなどで塞ぐ、または現地ドレン排水口で洗浄水を受けるなど、洗浄水がドレン配管から流れないようにしてください。
洗浄時の排水が溜まったら、バケツなどで取り除いてください。
- 洗浄水が滞りなくドレン管に流れることを確認する。
ドレン管にごみなどが詰まっている場合は取り除いてください。

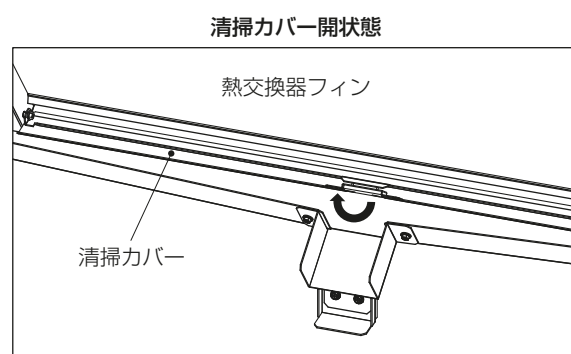
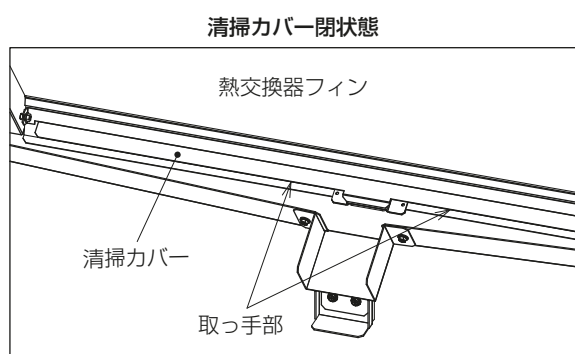
(2) 機器本体

手順

1. 吸込パネルおよびフィルターを取り外す。
詳細は指定のページを参照してください。「フィルターの着脱 (65 ページ)」
2. 中央フィルター支え (P560 形のみ) と下部フィルター支えを取り外す。
 - ・ 中央フィルター支えを持ち上げ、下側を手前に引き出して取り外してください。(P560 形のみ)
 - ・ 出荷時に下部フィルター支えのつまみねじを強固に締めています。初回取り外し時は、ドライバーを使用してください。元どおり取り付けるときは、手回しで締めて問題ありません。



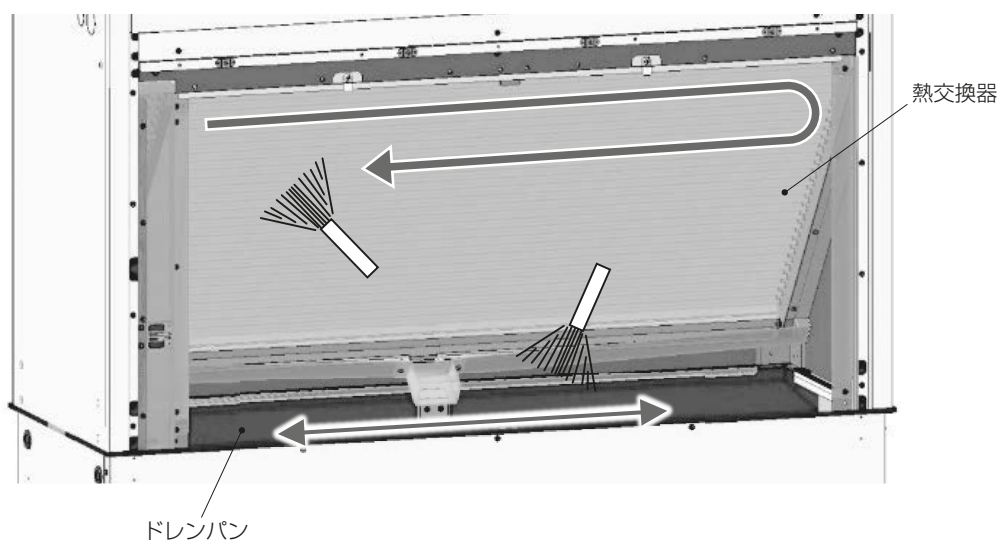
3. 清掃カバーを開ける。
 - ・ 下図のとおり取っ手部を持って開閉してください。
 - ・ 清掃カバーの開閉がスムーズに行えない場合、お買い上げの販売店 (工事店・サービス店) に相談してください。



[2] 洗浄方法

手順

1. ユニット内部に水を掛ける前に大きなごみなどを取り除く。
2. ホースまたは高圧洗浄機で熱交換器1次側を洗浄する。
 - 下図に示す矢印の流れで上から下に向かって、フィンに水を掛けてください。
 - 清掃カバーを開け、ユニット奥側（熱交換器2次側）に押し出されたごみなどを取り除いてください。
 - ユニット手前側に水を掛けると、跳ね返った水が機外に付着する場合がありますので、乾いた布などで拭いてください。
3. ドレンパン、サイドパネルを洗浄する。
 - ホースまたは高圧洗浄機で水を掛けてください。
 - 柱とパネルとの繋ぎ目に水を掛け続けると、ドレンパン外周のせきから水が出てくるのでせきを回ってきた水を拭き取ってください。
 - 汚れが落ちない場合は水を掛け続けず、湿らせた布で拭くなどして汚れを取り除いてください。



[3] 洗浄後の作業

警告

ぬれた手袋は使わない。

- ◆ 感電の原因になります。



ぬれ手
禁止

注意

吸込パネルを取り付ける場合、スリングも取り付ける。

- ◆ 吸込パネルを開けたとき、手前に倒れると、けがの原因になります。



指示を
実行

清掃カバーを開閉する場合は、取っ手部を持つ。

- ◆ 部品に手を挟むと、けがの原因になります。
- ◆ マグネットに指を挟むと、けがの原因になります。



指示を
実行

手順

1. ユニット内部の濡れている部位を柔らかい布で拭き取る。
2. ユニット内部を乾かす。
ユニット内部が濡れたまま運転すると、吹出し口から洗浄水が飛散したり、故障したりする原因になります。
3. 取り外した部品を元どおり取り付け。
 - 取り外した部品が汚れている場合は、湿らせた布などで汚れを拭き取ってから取り付けてください。
 - 清掃カバーは元どおり閉めてください。
 - ※ 中央フィルター支えは引っ掛け部が長い方を上側にして取り付けてください。
 - ※ 吸込パネル下部が本体で受けられていることを確認してください。

6-3-5. 別売部品の取扱い

[1] プレナムチャンバー

⚠ 注意

作業する場合は保護具を身に付ける。

- けがの原因になります。



指示を
実行

(1) 風向調節

本プレナムの風向調節は手動で行います。

お願い

- できるだけ角度の変更は少なくしてください。
動かすすぎると縦ルーバーの根元が破断する原因となります。
上下方向：横ルーバーを手で上下に動かしてください。
左右方向：縦ルーバーをプライヤーなどで左右に動かしてください。
- 水平・垂直を基準として 20° の範囲内で使用してください。
ルーバーの角度を大きく変更すると、冷暖房能力不足、結露などの原因となります。
使用環境により 20° の範囲内であっても結露する場合は、角度を小さくしてください。
- ルーバーを閉じた状態で運転しないでください。
回転不足による機器故障の原因になります。

(2) 洗浄方法

手順

1. 中性洗剤を含ませた柔らかい布でルーバー、外装パネルに付着した汚れを拭く。
2. 最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取る。

お願い

- ベンジン、シンナーは使用しないでください。

[2] プレナム吹出口フィルター・フランジ

(1) 取扱いについて

お願い

- 吹出口フィルターは**洗淨しない**でください。
洗淨すると伸縮やしわ、目開きなどが生じ、本来の性能を発揮できなくなります。汚れたら新しいものに取り換えてください。
- 紫外線に弱いため、殺菌灯付近では使用しないでください。
- 太陽光やその他の要因により素材が劣化したり、吹出口フィルター用フランジ側の面ファスナーが剥がれたりする原因となります。
- 設置対象の材質や状態（高温・低温・結露・サビなど）によっては、吹出口フィルター用フランジ側の面ファスナーの粘着が付きにくい場合があります。

(2) 交換時期の目安

- 吹出口フィルターの交換時期は、使用開始より6か月～1年ですが、使用状況により異なる場合があります。
 - 吹出口フィルターの汚れが目立つ場合、交換時期に達していなくても吹出口フィルターを取り換えてください。
 - 吹出口フィルターの面ファスナー接着強度が低下している場合、吹出口フィルターを取り換えてください。
 - 吹出口フィルター用フランジに貼り付けられている面ファスナーは交換不要ですが、板金からはがれるところがある場合は、面ファスナーを取り換えてください。
(推奨品：クラレファスニング株式会社 A8693Y.71 フック側 N テープ付き)
- ※ 交換後の部品は、各自治体の指示に従って破棄してください。
吸出口フィルター：ナイロン
面ファスナー：ポリエステル

[3] ハイメッシュフィルター、中性能フィルター、高性能フィルター、ロングライフフィルター、吸込フィルターユニット

⚠ 注意

作業する場合は保護具を身に付ける。

- けがの原因になります。



指示を
実行

フィルターを取り外すときは、保護具を身につける。

- ほこりが目に入り、けがの原因になります。



指示を
実行

(1) 取扱いについて

- 中性能フィルター、高性能フィルターは清掃、再生ができません。
 - 中性能フィルター、高性能フィルター以外のフィルターは週に1回程度点検、清掃してください。
- ※ 使用環境、じんあい量などによって異なります。
- ドレンパンの清掃も合わせて実施しドレン排水性を確認してください。
 - ※ ドレン管の清掃については、お買上げの販売店（工事店・サービス店）に相談してください。

お願い

- 中性能フィルター、高性能フィルターは**洗淨しない**でください。
汚れたら新しいものに取り換えてください。
- 吹出口や本体ユニットの吸込グリルの前面をふさがらないでください。
風の流れを妨げると冷暖房効果、空気清浄効果が低下します。
- 吹出口から異物を入れたり、ろ材に直接手を触れたりしないでください。
フィルターユニットに内蔵されるフィルターは捕集率の高いフィルターのため、ろ材やシール材に僅かなキズが付いても重大な欠陥となります。

6. お手入れ

- ・長時間の運転によりフィルター目詰まりすると風量が低下し、パッケージエアコンの運転に支障が生じます。
- ・清掃を怠ると風量が減少し、冷暖房効果、空気清浄効果が低下し、故障の原因になったり、フィルターユニット内のフィルター寿命にも影響を及ぼしたりします。

(2) 交換時期の目安

中性能フィルター、高性能フィルターの点検周期および交換周期は、下表を目安にしてください。ただし、下表はフィルター点検周期および交換周期の目安であって、保証期間を示すものではありません。

部品名	点検周期	交換周期
中性能フィルター、高性能フィルター	6か月	6か月

※ 上表はじんあい濃度 $0.15\text{mg}/\text{m}^3$ の場合を示します。
じんあいの多い環境の場合は、周期が短くなります。

(3) 洗浄方法

手順

1. 中性洗剤を含ませた柔らかい布で外装パネルに付着した汚れを拭く。
2. 最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取る。

お願い

- ・ベンジン、シンナーは使用しないでください。

[4] オイルフィルター

注意

作業する場合は保護具を身に付ける。

- ◆ けがの原因になります。



指示を
実行

フィルターを取り外すときは、保護具を身につける。

- ◆ ほこりが目に入り、けがの原因になります。



指示を
実行

(1) 取扱いについて

- ・周囲空気中の油ミスト濃度は、 $0.5\text{mg}/\text{m}^3$ 以下で使用してください。
- ・オイルフィルターの清掃周期は、1回/週を目安としてください。
- ※ 使用環境、油の濃度・粘度、じんあい量などによって汚れ方が変わります。
- ・ユニット内部のフィルターも同時に清掃してください。
- ・ドレンパンの清掃も合わせて実施し、ドレン排水性を確認してください。
- ※ ドレン管の清掃については、お買上げの販売店（工事店・サービス店）に相談してください。

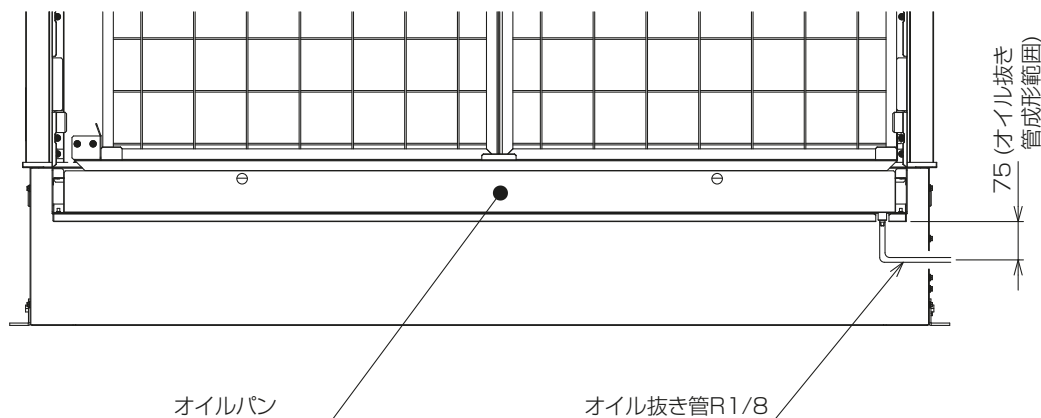
お願い

- ・ユニット内部は油環境下での使用により通常より早く汚れ、寿命が短くなることがあります。熱交換器、ドレンパン、モーター、ファンなど、定期的にメンテナンスしてください。モーター、ファンのメンテナンスはお買上げの販売店（工事店・サービス店）に相談してください。

(2) オイル抜き管を接続していない場合の取り扱いについて

- オイルパンに溜まったオイルは、オーバーフローしないようにしてください。
- オイルは前面サービスパネルを開けるとともにオイルパンを前面上方向に引き出して捨ててください。
- オイルパンがオーバーフローすると、オイルがユニット前面から外部へ流出します。
- オイルの量は前下パネルを開けることで確認できます。
- オイルパンにはオイル抜き管の接続が可能です。
接続する場合は、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）に相談してください。

(単位：mm)

**(3) 洗浄方法****手順**

1. 中性洗剤を含ませた柔らかい布で、外装パネルに付着した汚れを拭く。
2. オイルフィルターは、ぬるま湯もしくは中性洗剤を混ぜた水に浸ける。
3. 最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取る。

お願い

- ベンジン、シンナーは使用しないでください。

[5] ドレン配管接続キット**(1) 取扱いについて**

- ドレン配管接続キットは、**分解洗浄できません**。
- 洗浄時は、高圧洗浄機などでドレン配管内部を洗浄してください。
- 洗浄、消毒に**酸・アルカリ性の薬剤は使用しないでください**。
- 洗剤を使用する場合は、**中性洗剤を使用してください**。
使用後はよく洗い流してください。

6-4. 専門業者用お手入れの方法

ここから記載しているお手入れは、**ユーザー自身で行わない**でください。

6-4-1. ユニット内部の洗浄

⚠ 注意

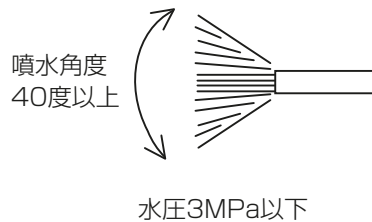
作業する場合は保護具を身に付ける。

- けがの原因になります。

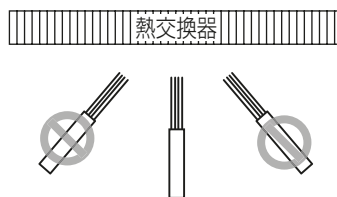


お願い

- 洗浄水の排水処理方法を確認してから洗浄してください。
- 洗浄時、市販の排水口ネットで受けるなどの処理をしてください。
付着している小麦粉などの固形物が排水管に流れ、ドレン管やドレントラップにごみが詰まる原因になります。
- ブラシやスチーム洗浄機は使用しないでください。
- 高圧洗浄機を使用する場合は 3MPa 以下、噴水角度 40 度以上で使用してください。



- 高圧洗浄機を使用しない場合の水量は **20 ℓ /min 以下** にしてください。
- 熱交換器に対して垂直に水をかけてください。
高圧洗浄機の使用有無に関わらず、角度がついた状態で高圧の水をかけると、フィンが変形する原因になります。



- **2 分以上局所的に水を掛け続け**ないでください。
ドレンパン外周に水が溜まる原因になります。水を掛けても汚れを取り除くことができない場合は、湿らせた布などで拭いて取り除いてください。

- 熱湯（50℃以上）を使用しないでください。
変形・故障の原因になります。
 - 洗浄、消毒に酸・アルカリ性の薬剤は使用しないでください。
 - 洗剤を使用する場合は、中性洗剤を使用してください。
中性洗剤を使用後は、よく洗い流してください。
 - ファンやファンケーシングからのごみが熱交換器に詰まらないようにしてください。
 - 汚れがひどい場合は、アルミフィンクリーナーを使用してください。（推奨品：横浜油脂工業株式会社製 シルバー N ファースト）使用時は、クリーナーの使用方法を確認してください。
- ※ クリーナー使用による本体部品の劣化などは保証できません。
- プレナムチャンバー（別売部品）は、ホースおよび高圧洗浄機で洗浄しないでください。

6-4-2. 送風機セクション・熱交換器（2次側）の洗浄

注意

作業する場合は保護具を身に付ける。

- けがの原因になります。



指示を
実行

[1] 洗浄前の準備

(1) 機器周辺

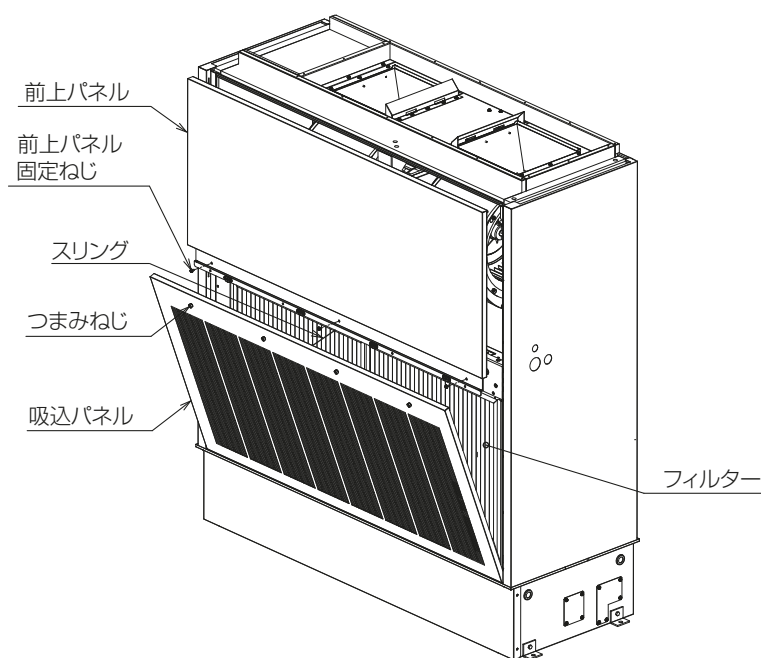
手順

1. 濡れると困るものを片付け、ユニット周囲を養生する。
2. 洗浄水の排水処理方法を確認する。
直接ドレン排水管に流せない場合に、ドレン排水口を養生テープなどで塞ぐ、または現地ドレン排水口で洗浄水を受けるなどして洗浄水がドレン配管から流れないようにしてください。
洗浄時の排水が溜まったら、バケツなどで取り除いてください。
3. 洗浄水が滞りなくドレン管に流れることを確認する。
ドレン管にごみなどが詰まっている場合は取り除いてください。

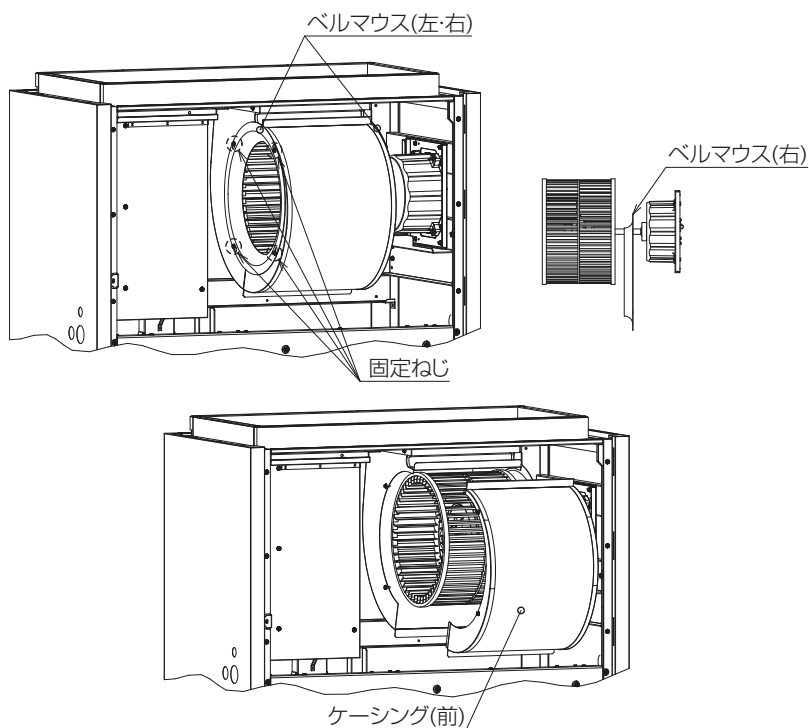
(2) 機器本体

手順

1. 吸込パネルおよびフィルターを取り外す。
詳細は指定のページを参照してください。「フィルターの着脱 (65 ページ)」
2. 中央フィルター支え (P560 形のみ) と下部フィルター支えを取り外す。
詳細は指定のページを参照してください。「熱交換器 (1 次側)・ドレンパン・サイドパネル (内部) の洗浄 (71 ページ)」
3. 前上パネルは固定ねじ3本を外し、持ち上げて取り外す。
※ 下図は P560 形を示しています。



4. ベルマウス (左・右) の固定ねじを緩め、ベルマウス (左・右) を取り出す。(ねじ: 各4本)
 - ・ベルマウス (右) は、モーターシャフトに掛かった状態になります。
 - ・ケーシング (前) は、ケーシング (後) に引っ掛かっているだけの状態ですので、落とさないようにしてください。
 ※ 下図は P280 形を示しています。



5. モーター、制御箱は水が掛からないように下記のとおり養生する。

モーター：シャフトからモールド、ブラケットを覆うように養生する。

シャフトの根元、ブラケットの隙間、配線部からの水の侵入を防止するために養生してください。

ブラケット、サイドパネルの隙間も養生し、モーター配線の根元に水が入らないようにしてください。

シャフトが回転しないように養生で固定してください。

制御箱：正面から右側面にかけて養生し、天板との継ぎ目に水が入らないようテープで固定する。

制御箱の隙間や配線貫通穴からの水の侵入を防止するため養生してください。

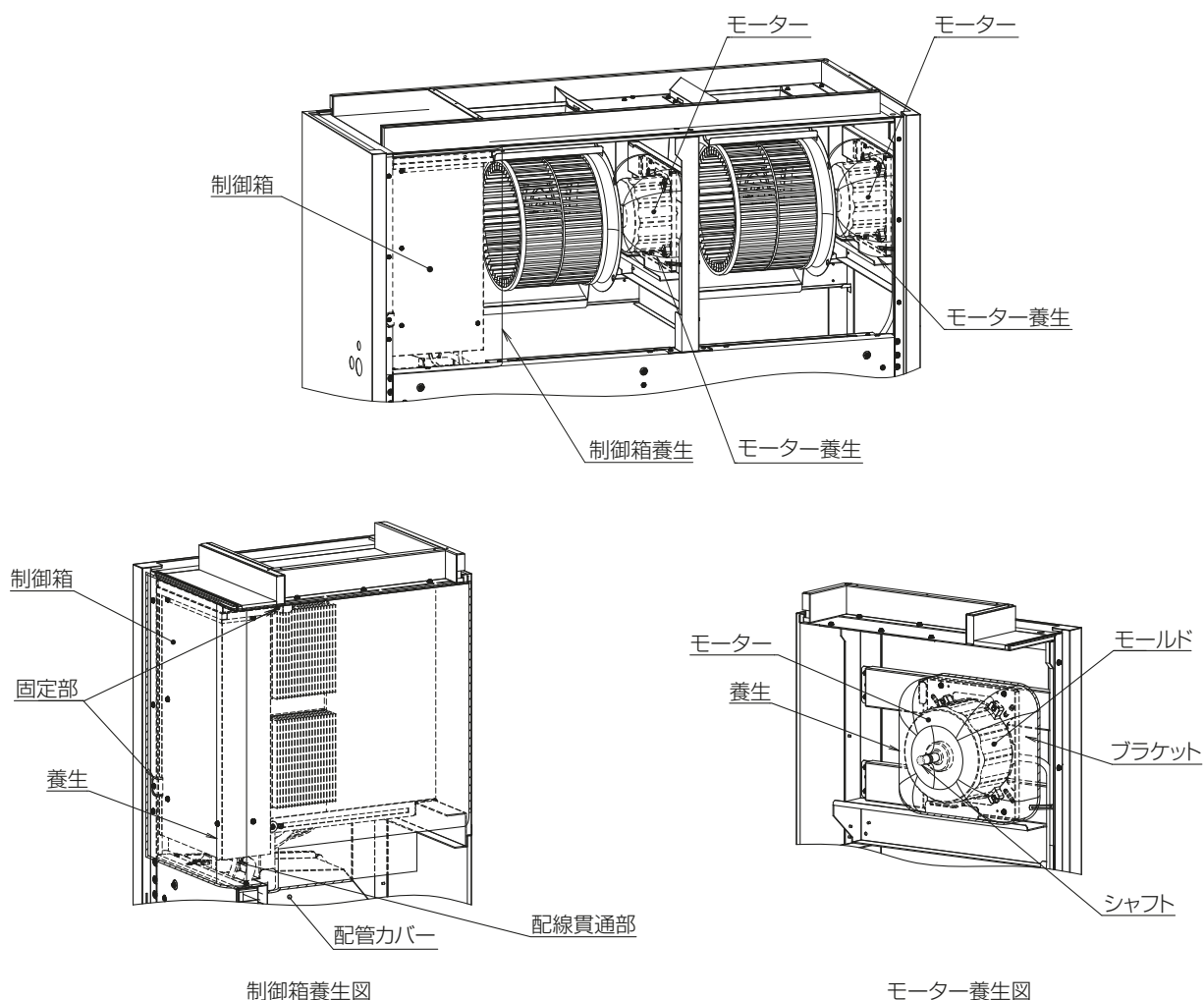
配線貫通部は熱交換器の配管カバーと繋げて水が掛からないよう養生してください。

配線貫通部は各々を養生し、水が入らないようにしてください。

制御箱と柱および天板との固定部を覆うように養生してください。

お願い

- お手入れ時は制御箱を開けないでください。
- モーター、制御箱に水が掛かったときは乾いた布などでふいてください。



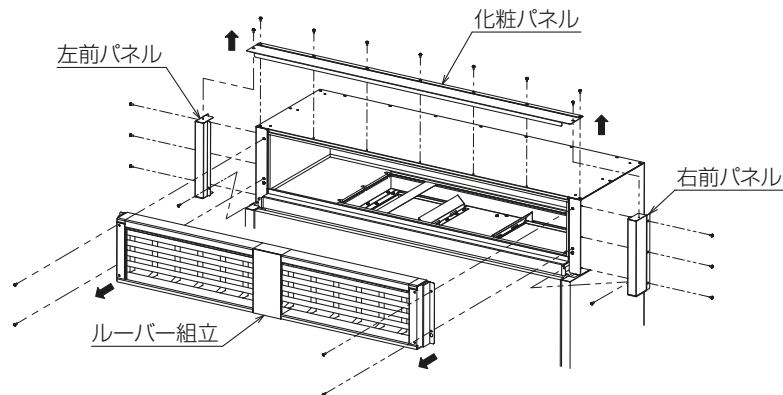
6. 清掃カバーを開ける。

- 詳細は指定のページを参照してください。「熱交換器（1次側）・ドレンパン・サイドパネル（内部）の洗浄（71ページ）」
- 清掃カバーの開閉がスムーズに行えない場合、締結ねじをドライバーで取り外し、清掃カバーのねじ穴部および締結ねじに付着しているごみなどを取り除いて元どおりに固定してください。

(3) プレナムチャンバー（別売部品）の組み込み時

手順

1. 化粧パネルを取り外す。（P280形：座付ねじ7本、P560形：9本）
2. 左前パネルと右前パネルを取り外す。（座付ねじ各4本）
3. ルーバー組立を取り外す。（座付ねじ4本）



[2] 洗浄方法

(1) シロッコファン・ケーシング

手順

1. 湿らせた布などで、付着しているごみを取り除く。
2. シロッコファン、ファンケーシング内部に水を掛ける。

(2) 天板・サイドパネル・背面パネル（熱交換器2次側）

手順

1. ホースまたは高圧洗浄機で水を掛ける。
2. 柱とパネルとの繋ぎ目に水を掛け続けるとドレンパン外周のせきから水が出てくるのでせきを回ってきた水を拭き取ってください。

お願い

- ・ 汚れが落ちない場合は水を掛け続けず、湿らせた布で拭くなどして汚れを取り除いてください。水が溜まる原因になります。
- ・ 養生したモーター、制御箱およびその周辺には水を掛けないでください。故障の原因になります。

(3) 熱交換器2次側

手順

1. ホースまたは高圧洗浄機でフィンに沿って水を掛ける。

(4) 熱交換器1次側空間

手順

1. 洗浄方法については、指定のページを参照してください。「熱交換器（1次側）・ドレンパン・サイドパネル（内部）の洗浄（71ページ）」
2. ドレンパン上のごみなどを取り除く。

(5) プレナムチャンバー（別売部品）内部、ルーバー**手順**

1. 湿らせた布などで汚れを拭き取る。

お願い

- 水を掛けて洗浄しないでください。
機器故障の原因になります。

[3] 洗浄後の作業**手順**

1. モーター、制御箱の養生を取り外す。
2. ユニット内部の濡れている部位を柔らかい布で拭き取る。
3. ユニット内部を乾かす。
ユニット内部が濡れたまま運転すると、吹出し口から洗浄水が飛散したり、故障したりする原因になります。
4. モーター電源線と大地間および電源端子台と大地間を DC500V メガーで計り、1.0MΩ 以上であることを確認する。
 - モーター電源線と大地間の絶縁抵抗を測る際は、中継コネクターを外し、モーターが接続されている方のコネクターにメガーをあてて測定してください。
5. 取り外した部品を元どおり取り付け。
 - 取り外した部品が汚れている場合は、湿らせた布などで汚れを拭き取ってから取り付けてください。
 - 清掃カバーは元どおり閉めてください。

7. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有料）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトを参照してください。*JRA: 一般社団法人 日本冷凍空調工業会

・ JRA GL-14 について、<http://www.jraia.or.jp/index.html>

・ フロン漏えい点検制度について、<http://www.jarac.or.jp/>

お願い

- ・ 据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。
工具が適切でない場合、機器損傷のおそれがあります。

様式1 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

年 月 日 ~ 年 月 日

管理番号

施設所有者				設備製造者		設置年月日					
施設名称		系統名		電話		使用機器					
施設所在地		電話		電話		型式	製品区分		設置方式		現地施工
運転管理責任者		電話		責任者		製番	検知装置		用途		
点検事業者	会社名	電話		責任者		冷媒量(kg)		合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)
	所在地	電話		責任者		冷媒量(kg)		合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)
使用冷媒		初期充填量(kg)	点検周期	基準	実績(月)						
作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックシートNo.	確認者	

7-1. 機器予防保全の目安

以下の保全周期は、定期点検の結果に基づき必要になるであろう部品交換、修理実施の予測周期を示すものであり、保全周期で交換が必要ということではありません。

保全周期は、保証期間ではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1 年	20,000 時間
ファンモーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000 時間
電子基板類		25,000 時間
熱交換器		5 年
容器 (アキュムレーターなど)		20,000 時間
膨張弁		20,000 時間
バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000 時間
センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5 年
ドレンパン		8 年
アクティブフィルター (AF 基板、RF 基板、AC ファン) ※ ¹		4 年

※¹ 製品の運転時間が 10 時間 / 日、2500 時間 / 年よりも長くなる場合のみ対象とします。

- ・ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- ・ この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計 (保守点検費用の予算化など) のために役立ててください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- ・ 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。

上表は次の使用条件が前提となります。

- ・ 頻繁な発停のない、通常の使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常の使用における発停の回数は、6 回 / 時間以下を目安としています。)
- ・ 製品の運転時間は、10 時間 / 日、2500 時間 / 年と仮定しています。

また、下記の項目に適合するときには、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ・ 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合。
- ・ 電源変動 (電圧、周波数、波形歪みなど) が大きい場所で使用する場合 (許容範囲外での使用はできません。)
- ・ 振動、衝撃が多い場所に設置して使用する場合。
- ・ ほこり、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない雰囲気を使用する場合。
- ・ 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24 時間空調など)

7-2. 消耗部品の点検周期目安

点検周期は、保証期間ではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
フィルター	1 年	5 年 ※ ¹
ヒューズ		10 年

※¹ 使用環境、ほこりの量などによって異なりますので早い時期に確認してください。

- ・ 点検周期は使用方法・環境により前後します。
- ・ 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。
- ・ 点検周期に基づいた定期点検実施の場合でも保証期間外での故障修理は有料扱いとなります。

8. 製品独自のお願い事項

8-1. 廃棄について

警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼する。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発の原因になります。



注意

ユニット内の冷媒は、処理業者に依頼して回収・廃棄する。

- ◆ 大気に放出すると、環境破壊の原因になります。



この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- ・ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・ この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、専門の回収業者に依頼してください。

8-2. 移設時の据付場所について

警告

改造はしない。

- ◆ 改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。
- ◆ 移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼してください。



- ・ 増改築・引越しのため、製品を取り外し、再据え付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）、または「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。
- ・ 据え付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。
- ・ ユニットの移設時は、販売店または専門業者に依頼し、据付場所は「据付工事説明書」に従って選定してください。

9. 据付工事の確認と試運転

ユニットの据付工事は、販売店（工事店）の据付工事資格保持者が関連法規・資格に基づき実施しております。据付工事完了後、次の事項をお客様ご自身でご確認ください。

販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。

運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。

内容	チェック欄
・「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
・運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
・試運転に立ち会いましたか。	
・据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

10. 仕様

		PFHV-P280DMWJ		PFHV-P560DMWJ	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P280DMWJ	PUHV-P280DMJ2	PFAV-P560DMWJ	PUHV-P560DMJ2
電源		三相 200V 50/60Hz			
冷房能力 (最大)	(kW)	25.0 (28.0)		50.0 (56.0)	
冷房消費電力	(kW)	7.64		17.6	
暖房能力 (最大)	(kW)	28.0 (31.5)		56.0 (63.0)	
暖房消費電力	(kW)	8.49		17.6	
通年エネルギー消費効率 (APF2015)		4.5		3.6	
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1900	1650	1900	1650
	幅 (mm)	1200	920	1720	1750
	奥行 (mm)	635	740	635	740
風量 ※3	(m ³ /min)	70	185	165	190×2
騒音値 (PWL) (dB(A 特性値)) ※2	冷房	68	80.5	76	85.5
	暖房				
製品質量 ※3	(kg)	239	180	337	317

※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。

※2 上表の騒音値は、JRA4065：2013「パッケージエアコンディショナの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。

※3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。

※4 能力欄の () 内は最大値を示します。

お願い

- ユニットの使用範囲を守ってください。
範囲外で使用した場合、故障の原因になります。

11. 修理を依頼する前に

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にしてください。故障の状況と表示部の英数字を、お買上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない。 よく暖まらない。	フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している。	フィルターの清掃をしてください。
	設定温度が高くまたは低くなっている。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
	室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている。	室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
	窓やドアが開いている。	窓やドアを閉めてください。 オールフレッシュタイプ以外の空調機が停止していないか確認してください。オールフレッシュだけでは室内温度を一定にできません。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。	そのまま約7分（最大12分）ほどお待ちください。
水の流れるような音や時々“ブシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	—
	霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。	—
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴が付き滴下するためです。	—
	暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。	—
	霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。	—
リモコンの運転表示が点灯しない。	電源が入っていないことが考えられます。	電源を確認してください。 ユニットの電源が入っていないと、リモコン表示が点灯しません。
再運転のために停止後すぐに【運転・停止】ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	ユニットを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約3分間待ってください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	集中コントローラーなどで、操作を制限されている場合に表示します。	—
	運転操作設定を遠方（外部）入力にしている場合に表示します。	—
リモコンの運転表示が点灯するが、室外ユニットが運転しない。	室内ユニット、もしくは室外ユニットへデマンド入力されている場合、室外ユニットが運転しません。	—
【運転・停止】ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	入タイマー運転をしている。	【運転・停止】ボタンを押して停止してください。
	外部入力信号にてON操作している。	—
	集中コントローラーなどで、操作されている。	—
	電源発停機能が設定されている。	電源発停機能を使用しない場合は、お買上げ販売店に相談してください。
	停電自動復帰が設定されている。	【運転・停止】ボタンを押して停止してください。 停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買上げ販売店に相談してください。
【運転・停止】ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	切タイマー運転をしている。	【運転・停止】ボタンを押して運転を再開してください。
	外部入力信号にてOFF操作している。	—
	集中コントローラーなどで、操作されている。	—

現象	原因の確認	処置方法
[運転・停止] ボタンを押したのに停止しない。	暖房運転中に停止ボタンを押されると、余熱排除のため約 1 分間、室内ファンが回ることがあります。	-
	ペーパーパン加湿器を組込んだ場合、水蒸気発生防止のため約 3 分間、室内ファンが回ることがあります。	
	室内ユニットの設定によっては、余熱排除のため、運転停止後約 3 分間室内ファンが回ることがあります。さらに別売ペーパーパン加湿器を組込んだ場合は、最大約 6 分間室内ファンが回ることがあります。	
リモコンのタイマー運転がセットできない。	タイマー設定が無効となっている。	タイマー設定を有効にしてください。
		スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。	初期設定(約 2 分)を行っています。	そのままお待ちください。
リモコンにエラーコードが表示される。	自己診断機能が作動してユニットを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。ユニットの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
風が冷たい、熱い。	オールフレッシュタイプの場合、サーモ OFF 時に外気が直接室内に吹き出します。不快に感じる場合は、設定温度をサーモ OFF になりにくい温度に変更してください。改善されない場合は、お買い上げ販売店に相談してください。	-
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	暖かな風をおとどけするための準備中です。リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのまま待つてください。	-
ファンモーターの回転数が勝手に変わる。	機器の保護のためや周囲の状況により回転数を自動で変化させることがあります	回転数が安定するまでそのままお待ちください。頻繁に回転数が変わる場合は、販売店に連絡してください。

12. 法令関連の表示

標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合や、経年劣化を進める事情が存在する場合には、設計使用期間よりも早期に安全上支障をきたすおそれがあります。

12-1. 標準的な使用条件

12-1-1. 使用範囲

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、故障の原因となります。

冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	- 15 ~ 43 ℃
湿球温度	10 ~ 25 ℃	—

暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	14 ~ 30 ℃	—
湿球温度	—	- 20 ~ 15.5 ℃

- 露点温度 23 ℃以上で長時間運転すると、室内ユニットが結露し、水漏れの原因になります。
- 冷房時室外吸込温度が 10 ℃以下で使用する場合は、安定した運転のために防雪フード（吹出ダクト、吸込ダクト）を取り付けてください。また、ユニット周囲を防雪ネット防雪棚で囲うなどの対策を行ってください。

12-1-2. 使用条件・環境

下記使用条件で使用してください。

- 下記の保守・点検周期も、同条件で使用した場合を示します。
 - 頻繁な発停のない、通常の使用条件であること（機種によって異なりますが、通常の使用における発停回数は、1 時間あたり 6 回以下を目安としています）。
 - 製品の運転時間は、1 日あたり 10 時間、1 年あたり 2500 時間と仮定しています。
- また、下記の項目に適合する環境で使用することは避けてください。使用する場合は「保守周期」の短縮を考慮してください。
 - 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合
 - 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所で使用する場合（許容範囲外での使用はできません）
 - 振動、衝撃の多い場所に設置して使用する場合
 - ほこり、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない雰囲気を使用する場合
 - 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24 時間空調など）

13. 保証とアフターサービス

13-1. 保証について

- 保証書は室内ユニットに添付しています。室内ユニットの保証書でセットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は、必ず「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入をお確かめのうえ、販売店（工事店）からお受け取りください。
保証書は内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ日（据付日または試運転完了日）から1年間です。
- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れなどによる家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

13-2. 保証できない範囲

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障。
- お買上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障。
- 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障。
- 車輛、船舶などに搭載された場合生じる故障。
- 据付工事による故障。
- 室内のフィルター詰まり、ドレンパン詰まりなどによる故障。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお客様名、据付日、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

13-3. 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

13-4. 修理を依頼される時は（出張修理）

- まず、指定のページにしたがってお調べください。「修理を依頼する前に（90ページ）」
なお、不具合があるときは、ご使用を中止し必ず配線用遮断器（ブレーカ）を切（OFF）にしてから、お買上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
- 離島および離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては販売店（工事店・サービス店）にご相談ください。点検・診断のみでも有料になることがあります。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。
- 修理料金は技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。

技術料	製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金
部品代	修理に使用した部品代金
出張料	お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

- ご連絡いただきたい内容（出張修理対象商品）

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
お買い上げ日	保証書発行の年月日： 年 月 日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

13-5. お問い合わせ

- ご不明な点や修理に関するご相談は、まずお買い上げの販売店（工事店・サービス店）にお問い合わせください。
- お買い上げの販売店（工事店・サービス店）に依頼できない場合は、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）へお問い合わせください。
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますのでご了承願います）

●お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

14. 環境関連の表示

警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼する。

• 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発の原因になります。



14-1. 再資源化について

このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として製品本体を材質別に容易に分解できる構造になっています。

14-2. フロン排出抑制法

ユニットを廃棄されるときは、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買上げの販売店（工事店・サービス店）、または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）に相談してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。



室内ユニットおよび室外ユニットに表示されている左記のシンボルマークは、ユニットに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを確認していただくための表示です。

この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

室内ユニットにはフロン類の種類・GWP（地球温暖化係数）が表示されています。システム全体のフロン類の数量は室外ユニットに表示されています。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 冷媒の種類および数量並びに GWP（地球温暖化係数）は、室外ユニットに記載されています。
- 冷媒を追加充てんした場合やサービスで冷媒を入れ換えた場合には室外ユニットの＜冷媒量記入のお願い＞の記入欄に必要事項を記入してください。

愛情点検

●長年ご使用のパッケージエアコンの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水がもれる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店（工事店・サービス店）か
お近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2023年5月作成
WT09858X02